

みやざきの道路 2022

都城東環状線
今町工区



高千穂通り 社会実験



国道327号 尾平工区



国道327号 永田工区

C O N T E N T S

| | | | | | |
|---------------------|---|-----------------|----|-----------------------|----|
| ● 宮崎県の概要 | 1 | ● 地域高規格道路 | 10 | ● 令和4年度県事業の主な完成・供用予定区 | 27 |
| ● 宮崎県の道路改良率 | 1 | ● 都市内道路の整備 | 13 | ● 一般有料道路 | 28 |
| ● 道路交通の現況 | 2 | ● 道路の整備 | 15 | ● 令和3年度道路整備完成事例 | 29 |
| ● 道路整備の方向性 | 3 | ● 道路環境の整備 | 17 | ● 緊急輸送道路 | 31 |
| ● 道路の予算 | 4 | ● 道路の維持管理と老朽化対策 | 19 | ● 重要物流道路 | 32 |
| ● 道路行政 | 5 | ● 県北地域の道路整備 | 21 | ● 道路整備年表 | 33 |
| ● 宮崎県新広域道路交通ビジョン・計画 | 6 | ● 県央地域の道路整備 | 23 | | |
| ● 高規格幹線道路 | 8 | ● 県南地域の道路整備 | 25 | | |



宮崎県の概要

宮崎県は、九州地方の南東部に位置し、人口は1,061千人(令和3年10月1日推計)で全国の約0.8%、県土面積は7,735km²で国土の約2%を占めており、9市14町3村で構成されています。年間を通して気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間、快晴日数は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有しています。また、祖母山系や霧島連山をはじめとする緑豊かな山々や、日南海岸や日豊海岸などの美しい海岸線など優れた自然環境に恵まれており、自然公園面積は91,919haで県土の約12%を占めているほか、105haの海域公園地区が指定されています。



● 県の花



● 県の木



● 県の鳥



宮崎県の道路改良率

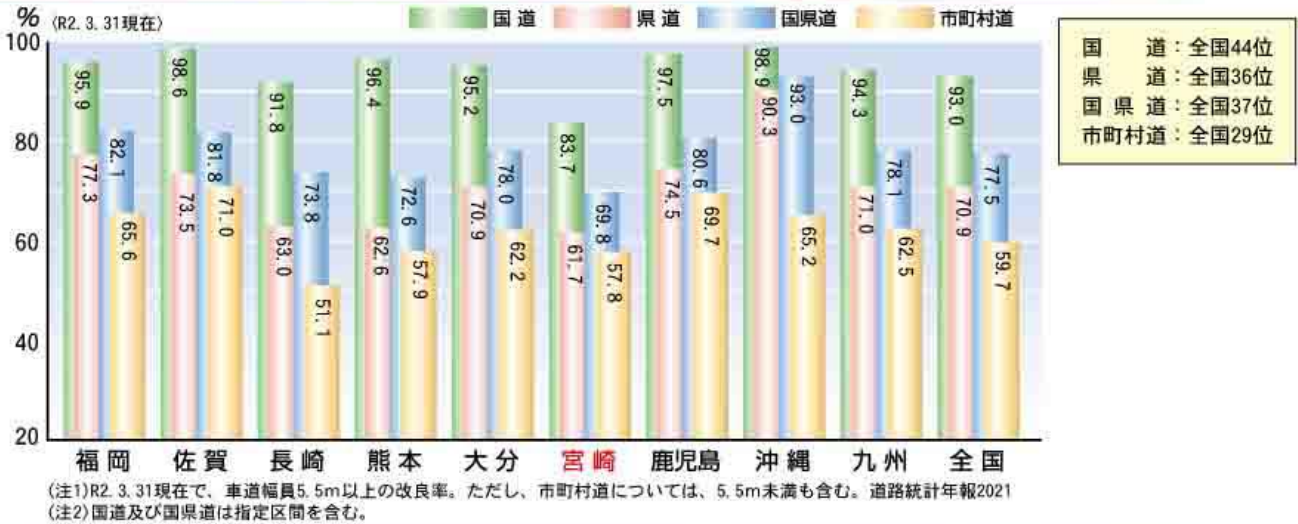
| 区分 | 路線数 | 実延長 | 規格改良済 (単位:m/96) | | | | |
|------------------|--------|--------------|-----------------|-------------|--------------|-------------|-------|
| | | | 5.5m未満を除く | | 5.5m未満を含む | | |
| | | | 延長 | 率 | 延長 | 率 | |
| 高速自動車国道 | 3 | 201,916.0 | 201,916.0 | 100.0 | 201,916.0 | 100.0 | |
| 国 道 | 指定区間計 | 3 | 313,687.0 | 313,687.0 | 100.0 | 313,687.0 | 100.0 |
| | 指定区間 | 3 | 309,308.0 | 309,308.0 | 100.0 | 309,308.0 | 100.0 |
| | 有料道路 | (1) | 4,379.0 | 4,379.0 | 100.0 | 4,379.0 | 100.0 |
| | 指定区間外 | 16 | 869,358.7 | 681,305.1 | 78.4 | 703,975.3 | 81.0 |
| | 計 | 19 | 1,183,045.7 | 994,992.1 | 84.1 | 1,017,662.3 | 86.0 |
| 県 道 | 主要地方道計 | 48 | 967,602.5 | 725,544.8 | 75.0 | 769,788.3 | 79.6 |
| | 主要地方道 | 48 | 951,282.5 | 709,224.8 | 74.6 | 753,468.3 | 79.2 |
| | 有料道路 | (1) | 16,320.0 | 16,320.0 | 100.0 | 16,320.0 | 100.0 |
| | 一般県道 | 145 | 1,049,218.6 | 528,217.6 | 50.3 | 574,702.0 | 54.8 |
| | 県道計 | 193 | 2,016,821.1 | 1,253,762.4 | 62.2 | 1,344,490.3 | 66.7 |
| 国県道計 | 212 | 3,199,866.8 | 2,248,754.5 | 70.3 | 2,362,152.6 | 73.8 | |
| 市 町 村 道 | 一級 | 758 | 1,627,883.0 | 1,046,266.0 | 64.3 | 1,424,060.0 | 87.5 |
| | 二級 | 934 | 1,491,195.0 | 502,106.0 | 33.7 | 1,112,819.0 | 74.6 |
| | その他 | 32,802 | 13,714,275.0 | 1,254,533.0 | 9.1 | 7,223,198.0 | 52.7 |
| | 計 | 34,494 | 16,833,353.0 | 2,802,905.0 | 16.7 | 9,760,077.0 | 58.0 |
| 総計 | 34,709 | 20,235,135.8 | 5,253,575.5 | 26.0 | 12,324,145.6 | 60.9 | |

*現道、旧道及び新道を含む。
*有料道路を含み、自転車道は含まない。

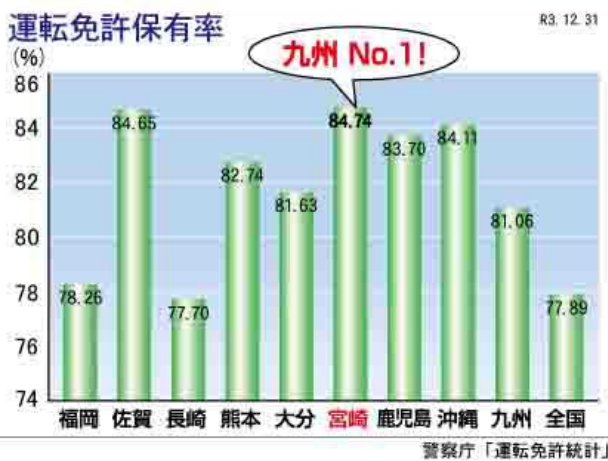


道路交通の現況

九州各県の道路整備状況 (九州各県の国・県・市町村道改良率)



道路関係データ



「宮崎県道路利用者協議会」及び「宮崎県道路整備促進期成同盟会」

道路整備の重要性を国やその他関係機関に訴える全国組織として「全国道路利用者会議」と「道路整備促進期成同盟会全国協議会」があり、本県の協議会及び期成同盟会は、それぞれの団体を構成する地方組織として、全国大会への参加や道路予算獲得のための要望活動等を行っています。今年7月19日に、本県の協議会及び期成同盟会の総会を開催し、下記の要望事項を決議しました。

● 決議

- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと
- 一、災害への備え及び観光等の経済活動復興のため、人流・物流の活性化に向けた東九州自動車道及び九州中央自動車道のミッシングリンクの解消、四車線化等とダブルネットワークの構築
- 一、重要物流道路の整備促進によるネットワーク強化
- 一、国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル等の老朽化対策の推進
- 一、地震時の迅速な支援人員派遣及び支援物資搬送の支障とならぬよう無電柱化を推進するとともに、地震等の大規模災害時における道路周辺環境の安全性・安定性を確保すること
- 一、トラック、バス、タクシー等の利用車目線での渋滞対策の推進、交通ターミナルの機能強化及び公共交通の維持・支援
- 一、高速道路料金について、利用に応じた料金制度としつつ、事業者向け割引の継続、SA・PA施設の充実
- 一、子供達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策の強化・推進と必要な予算の継続的な確保
- 一、頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局及び県内における河川国道事務所・出張所の人員体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保

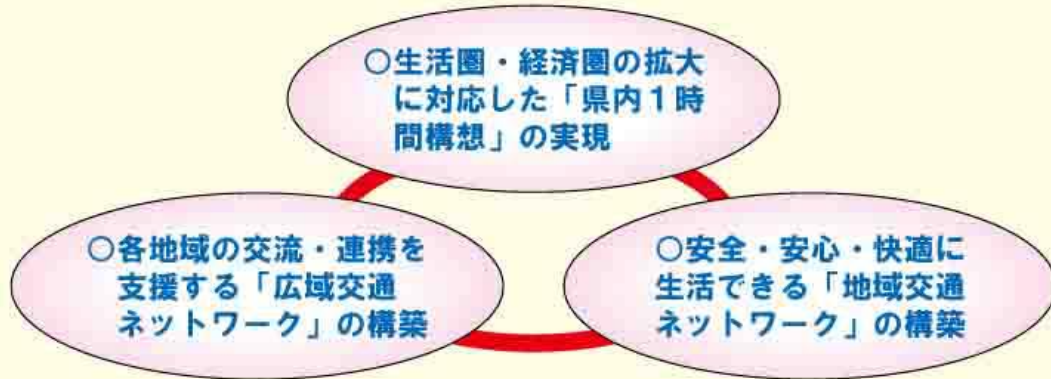


道路整備の方向性

宮崎県の道路整備方針

本県の道路整備においては、道路を取り巻く様々な環境の変化や新たな課題、県民のニーズなどを踏まえ、「地域の活力向上と活性化」、「地域の自立と発展」、「安全で快適な暮らし」の実現に寄与する道づくりを進めることとしています。

道づくりの基本目標



道づくりの基本方針

1 力強い「経済」の浮揚を支援する道づくり

- ・九州の一体的発展に向けた広域的活動の連携を支援する道づくり
- ・産業活動を支援する道づくり

2 定住自立を図る「地域」の発展を支援する道づくり

- ・地域間交流を促進する道づくり
- ・救急医療施設へのアクセス向上を支援する道づくり
- ・都市及び都市近郊における円滑な移動を支援する道づくり
- ・個性を活かした魅力あるまちづくりを支援する道づくり

3 安全・安心な「暮らし」の確保を支援する道づくり

- ・災害時、異常事態発生時における住民生活への影響を軽減する道づくり
- ・お年寄りや子供を含む全ての人の安全・安心を確保できる道づくり
- ・環境の保全に寄与する道づくり
- ・効果的な道路交通情報などの提供
- ・安全・快適な道路環境を将来にわたって守るための計画的・効率的な維持管理の推進

宮崎県総合計画（R1.6）における道路関連指標

重点指標

| | 現況値（H30年度末） | 実績値（R3年度末） | 目標値（R4年度末） |
|----------------|-------------|------------|------------|
| 緊急輸送道路の防災対策進捗率 | 58.6% | 62.6% | 63.0% |

取組指標

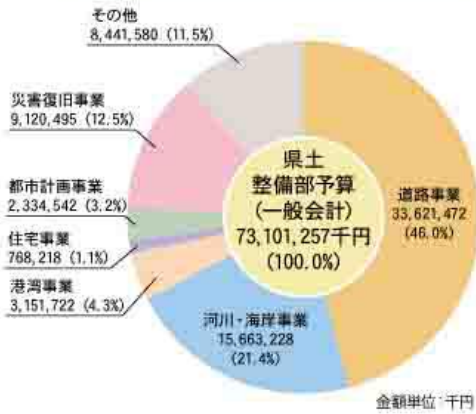
| | 現況値（H30年度末） | 実績値（R3年度末） | 目標値（R4年度末） |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 高速道路の整備率 | 74.0% | 75.0% | 75.0% |
| 地域高規格道路の整備率 | 61.3% | 72.8% | 72.8% |
| 緊急輸送進路の改良率 | 83.6% | 84.9% | 85.0% |



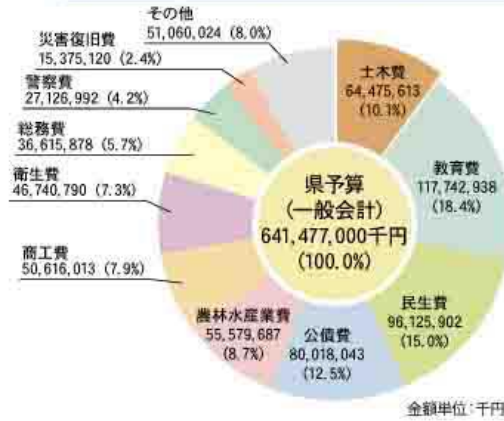
道路の予算

令和4年度予算

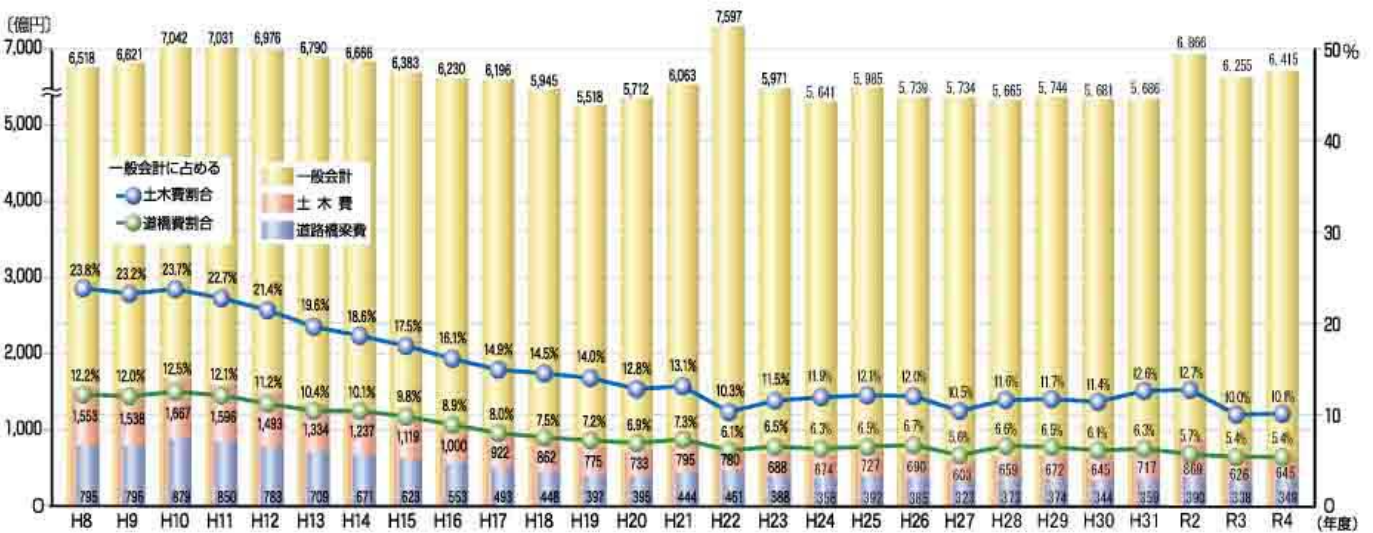
令和4年度県土整備部事業別予算



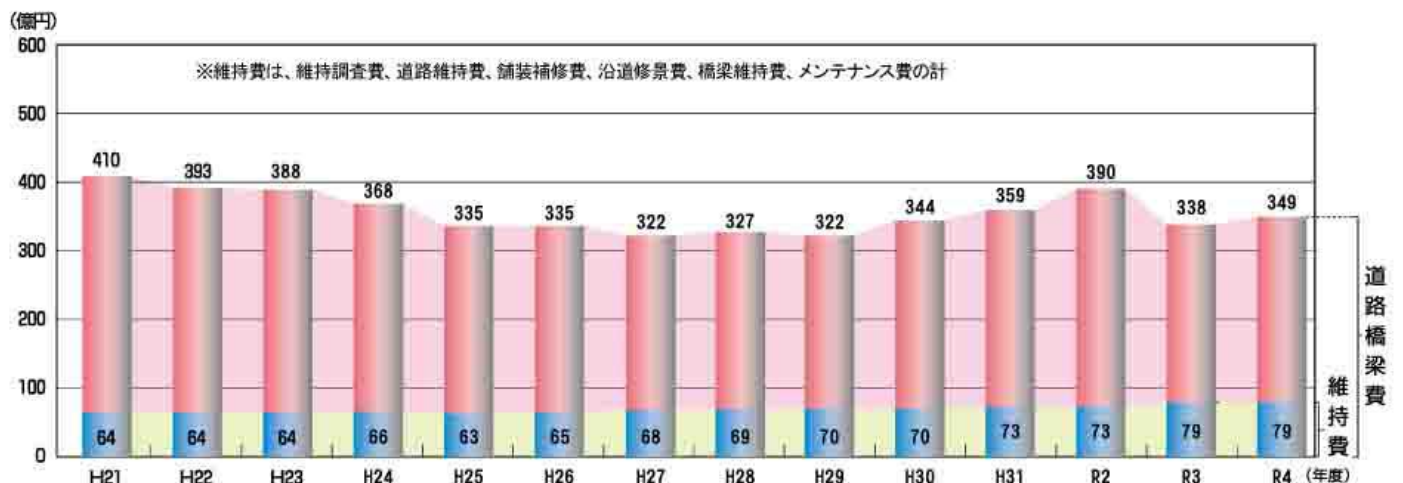
令和4年度県予算に占める土木関係予算



県予算の推移 (決算) (但し、R3、R4は当初予算)



道路予算の推移 (当初予算) (但し、H23、H27は6月補正を含む予算)





道路行政

国土強靱化に向けた取組

- 気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震やインフラの老朽化から、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持する必要があります。
- このため、「激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策」、「予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の加速」、「国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進」の各分野について、更なる加速化・深化を図っていくこととします。
- 道路においては、道路ネットワークの機能強化対策や道路施設の老朽化対策などを取り組んでいきます。



- ・ 2車線で整備されている道路では、全面通行止めから、早急に片側交互通行で開放することが可能となる。

参考) 国道219号 西米良村



- ・ 橋梁の耐震対策を行うことで、地震発生時に最小限の損傷に留めることが可能となる。

参考) 国道218号 延岡市

天馬大橋 橋脚補強
(コンクリート巻立工)

自転車活用推進計画

- 自転車活用推進法に基づき、自転車の活用の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本計画である自転車活用推進計画が平成30年6月8日に閣議決定。
- 宮崎県においては、令和元年9月に宮崎県自転車活用推進計画を策定。
 - ・ 計画期間
令和元年度から令和10年度まで
 - ・ 自転車活用推進に関する目標
 - 目標1：サイクルツーリズムの推進による観光振興と地域活性化
 - 目標2：自転車を利用しやすい都市環境の形成
 - 目標3：自転車事故のない安全で安心な社会の実現
 - 目標4：自転車を活用したスポーツ活動と健康づくりの推進



自転車通行空間の整備



シェアサイクルのサイクルポート

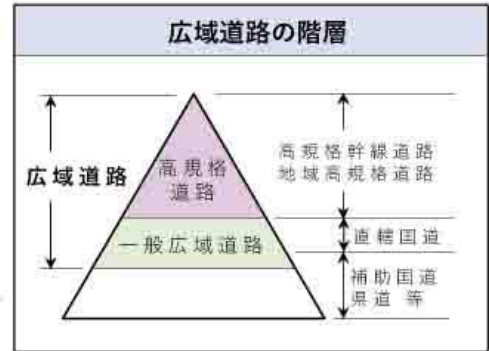


宮崎県新広域道路交通ビジョン・計画

重要物流道路制度を契機とし、全国各地域において「新広域道路交通ビジョン・計画」を策定することとなり、本県においても、宮崎県の実情や将来像を踏まえた概ね20～30年間の中長期的な観点から広域的な道路交通の今後の方向性を定める「宮崎県新広域道路交通ビジョン」及び「宮崎県新広域道路交通計画」を策定しました。

● 広域道路とは

- 高規格道路（高規格幹線道路、地域高規格道路）
 - ・ 県内や他県の主要都市間を連絡する道路
 - ・ 主要都市内の高速ICへアクセスする道路・環状道路
 - ・ 上記道路と重要な空港・港湾を連絡する道路
 - ・ サービス速度：概ね60km/h以上
- 一般広域道路（直轄国道、補助国道等）
 - ・ 広域交通の拠点となる都市を効率的・効果的に連絡する道路
 - ・ 高規格道路や一般広域道路と重要な港湾・空港を連絡する道路
 - ・ サービス速度：概ね40km/h以上
- 構想路線
 - ・ 高規格道路としての役割が期待されるものの、起終点が決まっていない等、個別路線の調査に着手している段階にない道路



● 広域的な道路交通の基本方針

広域道路ネットワーク

- 九州の一体的発展に向けた広域的活動の連携を支援する道づくり
- 防災・減災、国土強靱化に向けた道づくり

交通・防災拠点

- 交通拠点施設を核とした中心市街地活性化と交通施策の推進
- 公共交通による広域移動の円滑化及び大規模災害時の防災機能の強化

ICT 交通マネジメント

- 都市部の渋滞対策や中山間地域における移動手段の確保などの課題解決に向けたICT活用の推進

● 広域道路ネットワーク計画

新たな広域道路ネットワーク

※ ネットワーク図は別紙参照

■ 高規格道路（6路線）

- ・ 東九州自動車道
- ・ 九州中央自動車道
- ・ 宮崎自動車道
- ・ 宮崎東環状道路
- ・ 延岡インターアクセス道路
- ・ 都城志布志道路

■ 一般広域道路（7路線）

- ・ 国道10号
- ・ 国道220号
- ・ 熊本延岡道路(国道218号)
- ・ 宮崎環状道路
- ・ 人吉西米良宮崎道路(国道219号)
- ・ 日南都城道路(国道222号等)
- ・ 細島港アクセス道路
(国道327号、県道日知屋財光寺線)

■ 構想路線（6路線）

- ・ 大野高千穂道路
- ・ 阿蘇高千穂道路
- ・ 中九州縦貫道路
- ・ 高千穂日向道路
- ・ 日南串間道路
- ・ 宮崎港アクセス道路

● 交通・防災拠点計画

主な施策

- 交通結節点（宮崎駅等）を拠点とした、各交通機関の連携によるマイカーを利用しなくても移動可能な環境づくり
- 道の駅における防災機能や交通結節点機能の強化



グリーンスローモビリティ
（「ぐるっぴー」R2.11.20～運行）



重点道の駅都城 配置図

※ 都城市物産振興拠点施設整備基本計画（令和2年3月）に加筆

● ICT交通マネジメント計画

主な施策

- ETC2.0の更なる普及と交通情報提供の拡充
- 公共交通事業者と物流業者が連携した客貨混載輸送の更なる拡大
- バスロケーションシステム(※)を活用し、高速バスの運行情報案内やスムーズな乗継ぎによる利便性向上
※バスロケーションシステム：GPS等を利用してバスの位置情報を収集することにより定時運行の調整等に役立てるシステム



路線バス接近の案内
（バスロケ）



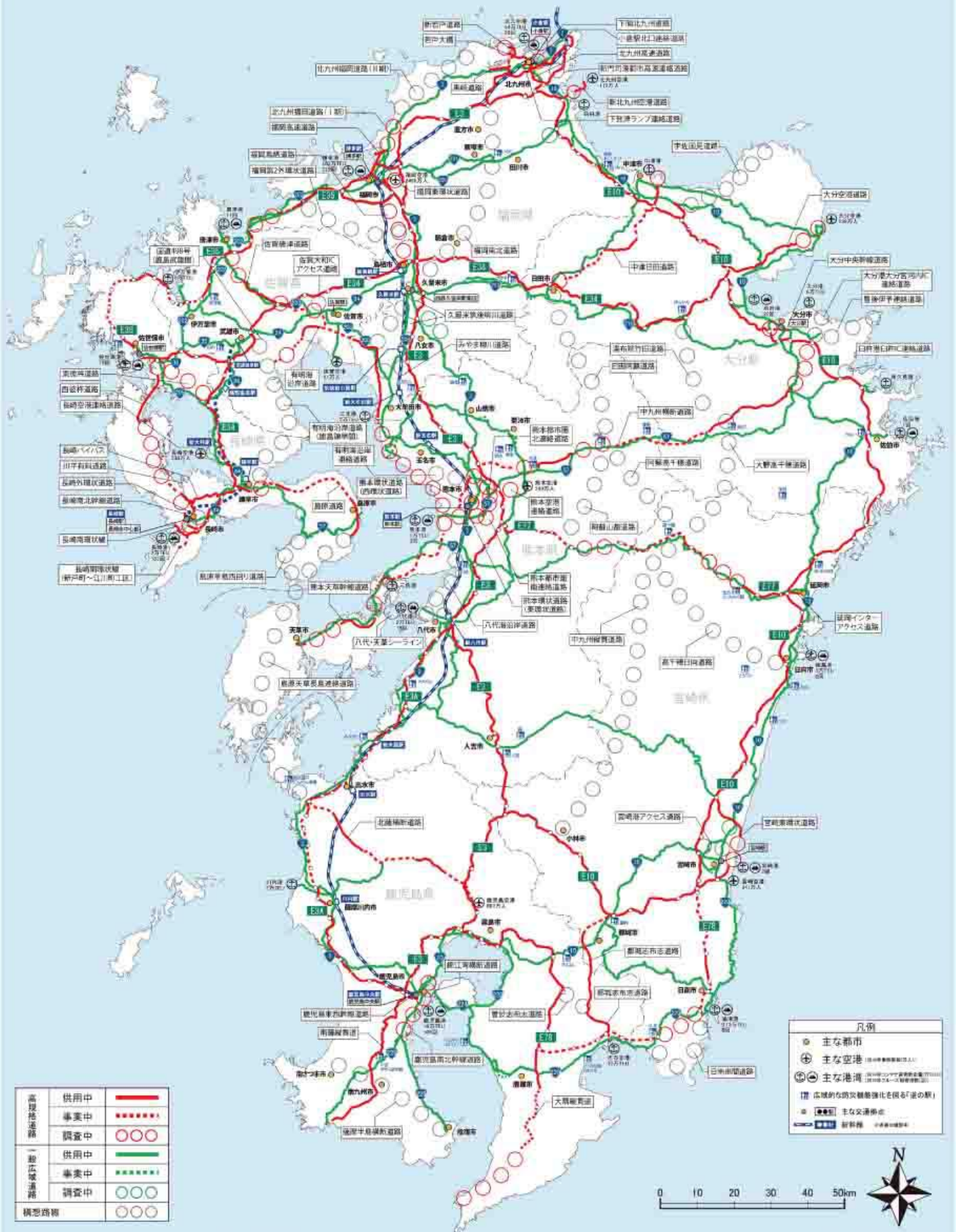
客貨混載輸送



宮崎県新広域道路交通ビジョン・計画

九州ブロック 広域道路ネットワーク図

【計画策定時点 (R3. 7. 1時点)】



※本計画図は、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

出典：九州地方整備局HP



高規格幹線道路

高規格幹線道路とは？

高速交通サービスを確保するために必要な自動車専用道路で、高速自動車国道と一般国道自動車専用道路をいいます。

高規格幹線道路の整備体系

高規格幹線道路
第四次全国総合開発計画（四全総）
閣議決定（S62）
約14,000km

● 国土開発幹線自動車道建設法（国幹道法）と高速自動車国道法に基づく高規格幹線道路（A路線）

高速自動車国道 ※約11,520km

※S62 国幹道法の改正により制定

● 国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路（B路線）

一般国道自動車専用道路：約2,480km うち、本州四国連絡道路：約180km

本県では、九州縦貫自動車道（宮崎線・鹿児島線）、東九州自動車道、九州中央自動車道（九州横断自動車道延岡線）が高速自動車国道として位置付けられています。

県内の高速自動車国道の計画延長331kmのうち、令和4年3月末までに246km（延岡南道路・国道10号延岡道路・国道218号北方延岡道路・国道218号高千穂日之影道路を含む。）が供用されましたが、供用率は74%と依然低く、全国と比べても著しく整備が遅れています。（全国87%）

高規格幹線道路供用延長等

令和4年3月25日現在

| | 総延長 | 基本計画延長 | 整備計画延長 | 供用延長 | 供用率(%) |
|--------------|-----------|----------|---------|------------------------|------------|
| 高規格幹線道路 | 約14,000km | — | — | 12,202km | 87 |
| 高速自動車国道等 | 約11,520km | 10,623km | 9,428km | (1,073km)注1 9,158km | (89) 79 |
| 有料道路方式区間 | — | — | 8,594km | 8,487km | — |
| 新直轄方式区間 | — | — | 834km | 671km | — |
| 一般国道の自動車専用道路 | 約2,480km | — | — | 1,971km | 79 |

【供用率】

令和4年3月31日現在



※（ ）内は、高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路で外書きであり、高規格幹線道路の統計にふくまれている。（注1）
※一般国道自動車専用道路の供用延長には、一般国道のバイパス等を活用する区間が含まれる。

九州の高規格幹線道路網状況



県内の事業中箇所

東九州自動車道

「清武南～日南北郷」(17.8km)
国道220号日南・志布志道路(3.2km)
国道220号油津・夏井道路(16.1km)

九州中央自動車道

(九州横断自動車道延岡線)

国道218号蘇陽五ヶ瀬道路(3.9km)
国道218号五ヶ瀬高千穂道路(9.2km)
国道218号高千穂雲海橋道路(3.3km)

凡例

高速自動車国道

- 開通区間(有料道路方式)
- 開通区間(新直轄方式)
- 事業中区間(有料道路方式)
- 事業中区間(新直轄方式)
- 未事業化区間

高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路

- 開通区間
- 事業中区間

一般国道の自動車専用道路

- 開通区間
- 未開通区間

令和4年5月現在



高規格幹線道路

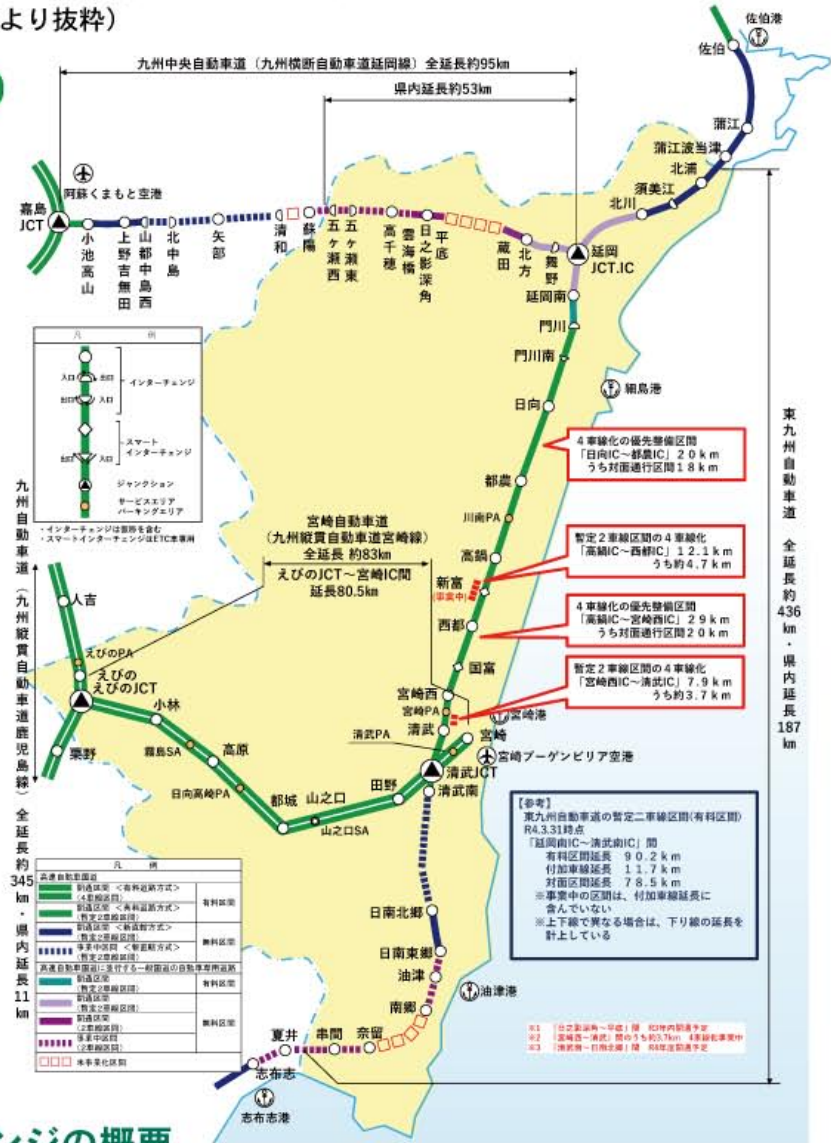
● 高速道路の暫定2車線区間の4車線化や優先整備区間について

暫定2車線区間の4車線化は、災害時における信頼性の高い通行機能の確保や、平常時においても、時間信頼性や事故防止に大きく寄与することが期待されます。

県内では、平成31年度に「宮崎西IC～清武IC」間のうち約3.7kmが事業化されました。また、同年9月に「日向IC～都農IC」間、「高鍋IC～宮崎西IC」間が、優先整備区間(※)に選定され、そのうち、「高鍋IC～西都IC」間の一部区間、約4.7kmが令和3年度に事業化されています。

※優先整備区間とは、暫定2車線区間の4車線化を計画的に推進するため、優先的に事業化し整備する区間（「高速道路における安全・安心基本計画」より抜粋）

宮崎県の高規格幹線道路網図



● スマートインターチェンジの概要

スマートインターチェンジは、通行可能な車両をETC搭載車両に限定しているインターチェンジです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のICに比べて低コストで導入できます。

開通済みのスマートICは、全国では149箇所あり、このうち本県には、山之口スマートIC・門川南スマートIC・国富スマートICの3箇所があります。また、全国で48箇所が整備中であり、このうち本県では、新富スマートIC(仮称)の整備に取り組んでいます。(令和4年8月7日時点)

- ETC専用のためSA・PA、都市部などにコンパクトに設置可能
- インターチェンジのない市町村をはじめ、各所に数多く設置可能
- ・地域活性化の支援
・通勤時間の短縮や周辺道路の交通円滑化
・災害時の代替機能
・地域医療への貢献など

SA・PA接続型

本線直結型





地域高規格道路

地域高規格道路は、高規格幹線道路と一体となって、地域構造を強化する役割を担っており、連携・交流・結びいずれかの機能を持っています。また、自動車専用道路あるいはそれと同程度の機能を持つ質の高い道路として位置づけられており、広域道路整備基本計画で高い交流機能を発揮する道路として位置づけられた「広域道路(交流促進型)」の中から選ばれます。

地域高規格道路の構造要件は、「地域高規格道路の候補路線、計画路線の指定要望に係る構造要件(案)について」(平成6年11月都市交通調査室長、道路経済調査室長通達)により示されているところですが、「地域高規格道路の構造要件の見直し」(平成15年5月2日)により、見直しの通知がなされました。

サービス速度

路線全体として概ね60km/h以上を確保。

設計速度

所要のサービス速度を確保するよう、60km/h以上を確保。

車線数

2車線以上。ただし、2車線の場合は、追い越し区間を適宜設置する。

サービス速度と構造イメージ

| サービス速度 | 車線数 | 設計速度 | 交差方法 | | 沿道アクセス | 中央帯の形式 | 原付等の制限 | 歩行者・自転車 | 構造イメージ |
|-------------|-------------------|----------|------|---------------------|-----------------------|----------------------------|--------|---------|---------------------------|
| | | | 主要 | その他 | | | | | |
| 70~80km/h以上 | 2以上 ^{※1} | 80km/h以上 | 立体 | 立体 | 禁止 | ①分離 ^{※4} ②簡易分離 | 可能 | 禁止 | 自動車専用道路 (簡易分離を含む。) |
| 60km/h | 2以上 ^{※1} | 60km/h | 立体 | 立体 | 禁止 | ①分離 ^{※4} ②簡易分離 | 可能 | 禁止 | アクセスコントロール |
| | 4以上 | 60km/h以上 | 立体 | 連結 | 事実上禁止 | 分離 | 不可 | 構造的に分離 | |
| おおむね60km/h | 4以上 | 80km/h以上 | 立体 | 平面交差可 ^{※5} | 集約アクセス等 ^{※6} | 分離 | 不可 | 構造的に分離 | 主要交差点立体化 & 沿道アクセス集約 |
| | 2 ^{※1} | | | なし ^{※3} | | | | | |

- ※1: 2車線の場合には、追い越し区間を適宜設置する。
- ※2: 路線全線としてサービス速度がおおむね60km/h以上を確保できる場合に限り、平面交差も可。
- ※3: 沿道施設への出入り車両による本線交通への速度低下の影響について個々に検証し、所要のサービス速度を確保するため必要なアクセス制限を行う。
- ※4: 2車線でサービス速度70km/h以上の場合。
- ※5: 2車線の場合。
- ※6: 沿道への出入り車両が多く、本線交通への影響が予想される場合には、右折車両を排除するための簡易分離帯を設置する。(R4.3.31現在)

県内の整備状況

計画路線

| 地域高規格道路名 | 区間名(道路名) | 延長(km) | 事業箇所 | 備考 | 供用率(%) |
|---|------------------|--------|------------------|---------------|--------|
| 宮崎東環状道路 (計画路線) L=30km | 一ツ葉有料道路 | 20.2 | | Ⅲ期含む。供用16.2km | 80 |
| | 国道219号 | 9.6 | | 供用9.6km | 100 |
| 都城志布志道路 (計画路線) L=44km <県内区間 L=22km> | 国道10号 都城道路 | 13.4 | 都城IC~乙房IC(5.7km) | 供用7.7km | 57 |
| | (主)都城東環状線 | 3.2 | | 供用3.2km | 100 |
| | (一)飯野松山都城線 | 5.4 | | 供用5.4km | 100 |
| 延岡インターアクセス道路 (計画路線) L=3km | (一)延岡インター線 | 3.0 | | 供用3.0km | 100 |
| 全体 | 76.8km(県内54.8km) | | 事業中計 5.7km | 供用済計 45.1km | 82 |

候補路線

| 地域高規格道路名 | 区間名(道路名) | 延長(km) |
|-------------------------|--------------|--------|
| 宮崎環状道路 (候補路線) L=24km | 国道10号 住吉道路 | 7.0 |
| | (主)宮崎西環状線 | 15.5 |
| | 国道220号 宮崎南BP | 2.0 |
| 全体 | 24.5km | |

地域高規格道路の指定の手順

広域道路整備基本計画の策定<H6年1月当初>

広域道路(交流促進型)の選定<H10年6月見直し>

路線の緊急性、重要性、地域活性化への効果、構造、ネットワークとしての整合性等を検討

地域高規格道路の指定

路線(プロジェクト)の指定

候補路線

地域高規格道路として整備を進める妥当性、緊急性について検討を進める路線

- 1 宮崎環状道路 (H6.12.16) (延伸部 H10.6.16)

計画路線

地域高規格道路として整備を進めていくため、基礎的データの収集、路線全体の整備計画の検討等を進める路線
[全国 186路線/約6,950km]

- 1 宮崎東環状道路 (H6.12.16) L=30km
- 2 延岡インターアクセス道路 (H6.12.16) L=3km
- 3 都城志布志道路 (H6.12.16) L=44km (うち、宮崎県側 L=22km)

区間(事業単位)の指定

調査区間

ルート選定、整備手法、環境影響評価、都市計画等の調査を進める区間

- 1 都城志布志道路
 - ① 都市高水町~五十町 13km (H8.8.30)
 - ② 都市市内(五十町~梅北町) 3km (H10.12.18)
- 2 宮崎東環状道路
 - ① 佐土原町下那珂~東上那珂(広瀬BP) 3km (H13.12.18)

整備区間

事業着手に向け実施設計、地元協議等を進める区間

- 1 宮崎東環状道路
 - ① 一ツ葉有料道路南端 (H7.4.28) 5.0km 供用
 - ② " 北線(") 6.0km "
 - ③ 国道219号春田バイパス(") 6.4km "
 - ④ 国道219号広瀬バイパス(H15.9.28) 3.2km "
- 2 延岡インターアクセス道路(H7.8.23)
 - ① 一般県道延岡インター線 3.0km 供用
- 3 都城志布志道路
 - ① 国道10号都城道路
 - 都市平塚町~都市五十町 (H23.4.19) 1.9km 供用
 - 都市南橋市町~都市平塚町 (H31.3.17) 2.8km 供用
 - 都市乙房町~都市五十町 (H10.12.18) 3.0km 供用
 - 都市高水町~都市乙房町 (H19.3.30) 5.7km 整備中
 - ② 都城東環状線
 - 都市五十町~都市梅北町 (H12.12.20) 3.2km 供用
 - ③ 飯野松山都城線
 - 都市梅北町~都市梅北町 (H23.4.1) 2.5km 供用
 - 都市梅北町~鹿児島県境 (H25.5.16) 2.9km 供用

※区間指定は概略延長である。

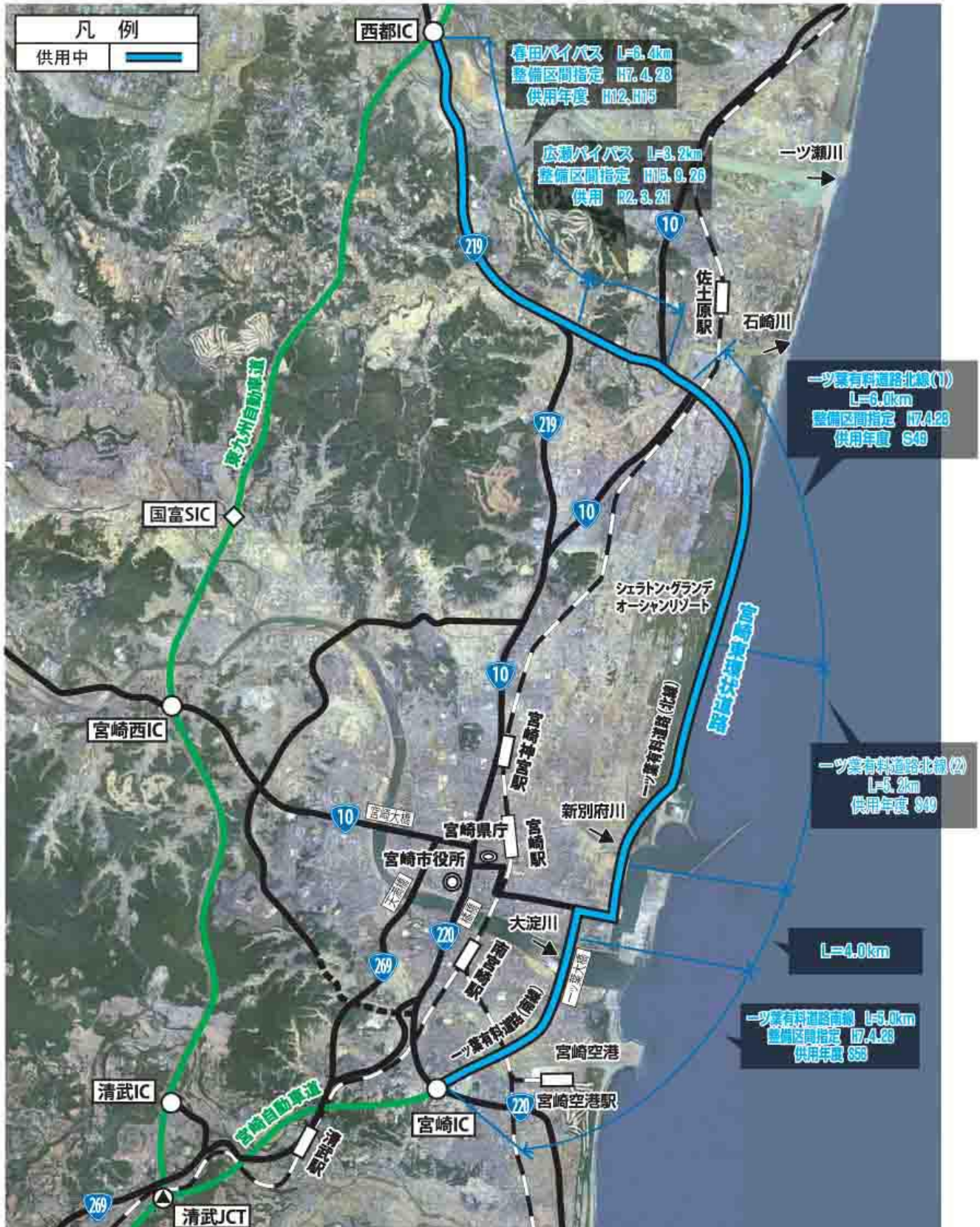


地域高規格道路

宮崎東環状道路

宮崎東環状道路は、宮崎ICから西都ICに至る延長30kmの地域高規格道路であり、物流拠点の宮崎港や宮崎空港とを結ぶほか、宮崎都市圏中心部の渋滞緩和にも大きく寄与する環状道路としての機能を有しています。

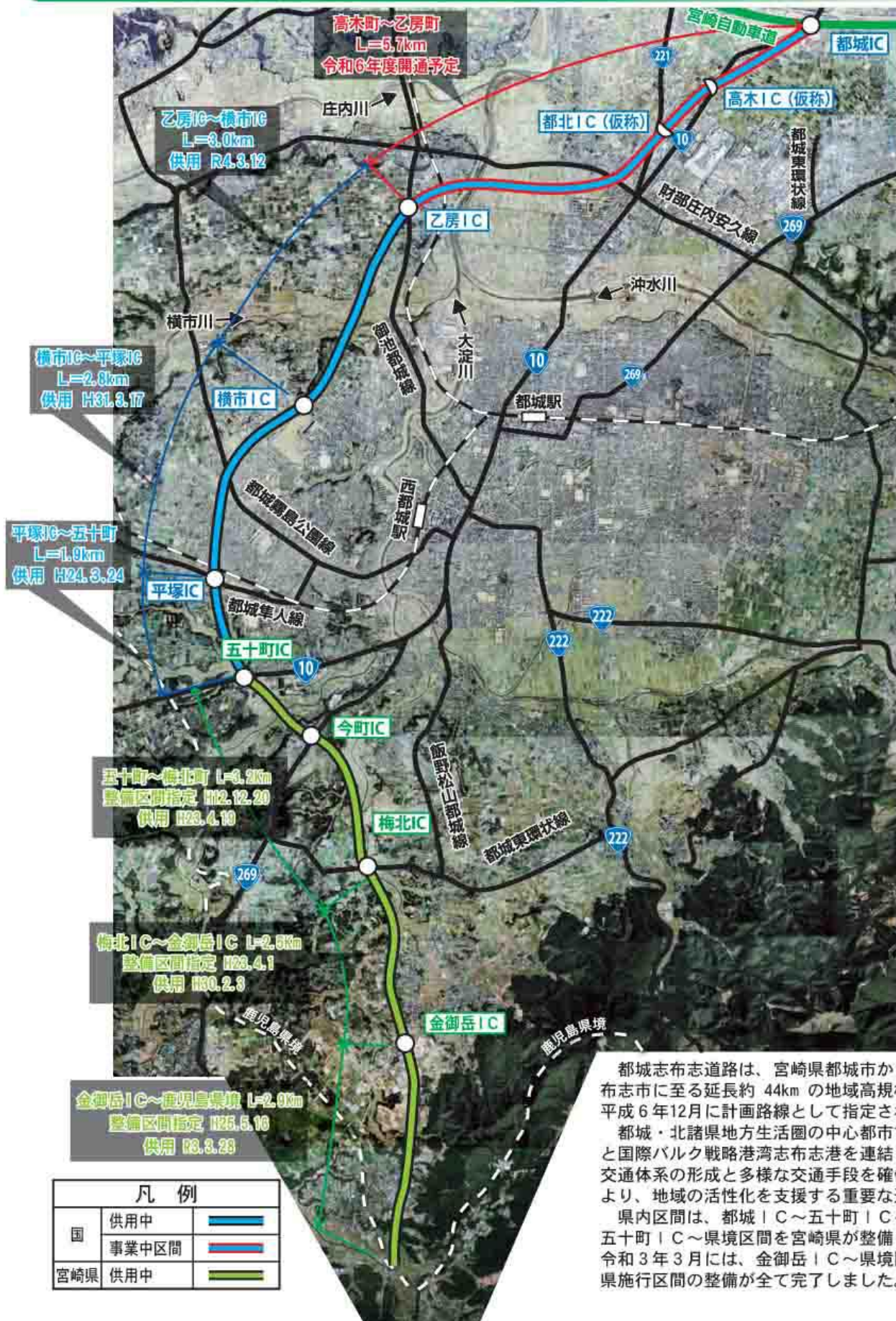
令和2年3月には、広瀬バイパスが開通し、宮崎東環状道路が全線開通しました。





地域高規格道路

都城志布志道路



都城志布志道路は、宮崎県都城市から鹿児島県志布志市に至る延長約44kmの地域高規格道路であり、平成6年12月に計画路線として指定されました。

都城・北諸県地方生活圏の中心都市である都城市と国際バルク戦略港湾志布志港を連結し、効率的な交通体系の形成と多様な交通手段を確保することにより、地域の活性化を支援する重要な道路です。

県内区間は、都城IC～五十町ICを国土交通省、五十町IC～県境区間を宮崎県が整備しています。令和3年3月には、金御岳IC～県境間が開通し、県施行区間の整備が全て完了しました。



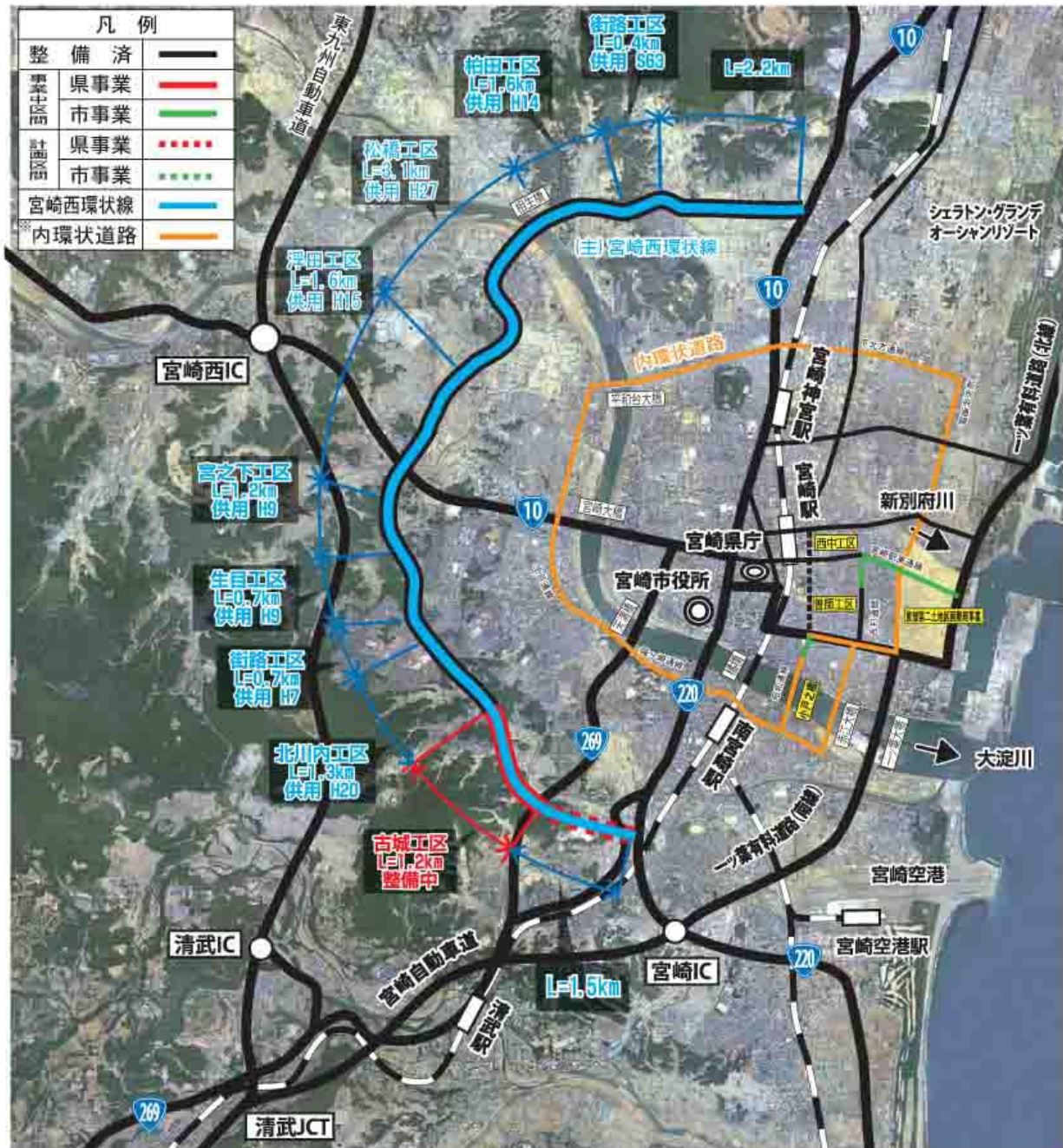
都市内道路の整備

宮崎西環状線や内環状道路の整備

宮崎市街地に流入する交通は、国道10号、220号、269号などを通過し、市内中心部に集中するため、特に朝夕の混雑は著しいものがあります。このため、これらの道路を市街地郊外で環状的に結びつける主要地方道 宮崎西環状線の整備を進めております。宮崎西環状線は中心部へ流入する交通を分散し、通過交通を排除することで、交通混雑を緩和するとともに、周辺地域との連携を強化することを目的として計画しており、現在は古城工区において整備を進めています。

また、中心市街地をドーナツ状に囲む内環状道路として、円滑な交通の流れと快適な都市環境を確保するため整備を進めており、このうち、宮崎市が整備を行った宮崎駅東通線の西中工区の約0.4kmが令和2年3月より供用され、引き続き未整備区間の整備を進めています。

さらに、昭和通線については、宮崎市による小戸之橋(L=503m)の架け替え工事が完了し、令和3年4月より供用され、引き続き宮崎市が旭通線との交差点までの区間の整備を進めています。

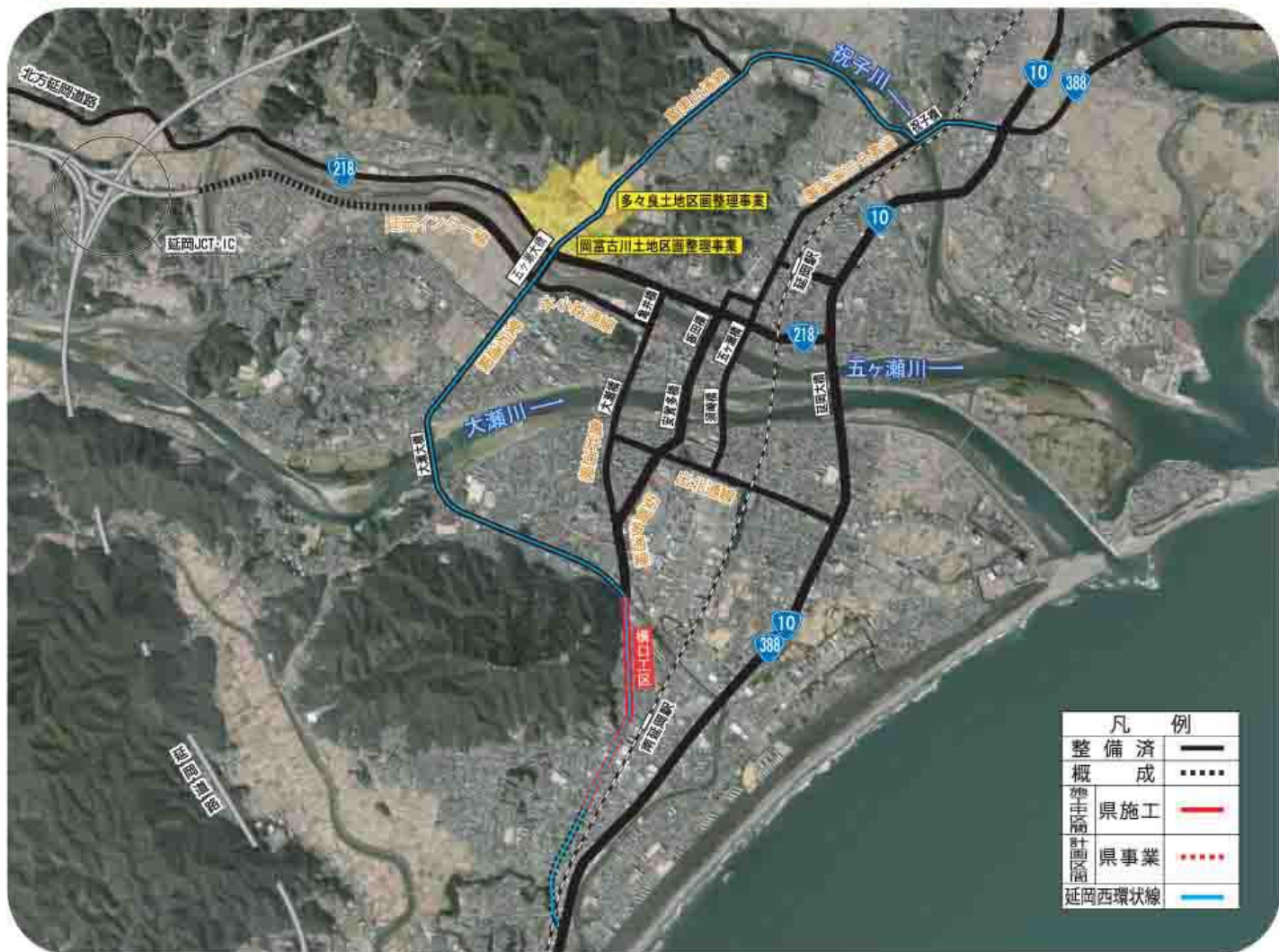


※「宮崎市圏総合都市交通計画調査 総括報告書 平成17年3月」より引用



都市内道路の整備

延岡市内における環状道路等の整備



延岡市内の道路の骨格は、主要幹線道路の国道10号、国道218号であり、両国道は市の中心部から放射線状に伸びています。

国道10号に並行して須崎中川原通線や安賀多通線等が走っていますが、朝夕の通勤時をはじめ、中心部に流入する車両により交通混雑が頻発しています。

これを緩和・解消し、快適な都市環境を実現するため、愛宕通線、富美山通線、須崎中川原通線からなる環状道路(L=約10km)において、県と延岡市で整備を進めています。

平成24年度には、古川・多々良工区が開通し、平成29年度には中川原工区が開通しました。

現在は、安賀多通線(構口工区)において、県が整備を進めています。





道路の整備

国の事業 (直轄事業)

高規格幹線道路の整備

東九州自動車道の清武南ICから日南東郷ICまでの区間については、新直轄方式により整備が進められており、このうち、日南北郷ICから日南東郷ICまでの区間が開通しています。

また、東九州自動車道の日南東郷ICから南郷IC及び奈留ICから鹿児島県境まで、九州中央自動車道の熊本県境から平底までの区間については、高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路として整備が進められており、このうち、九州中央自動車道の雲海橋から平底までの区間が開通しています。

国道の整備

県内の国道のうち国土交通省が管理している路線(一般国道の指定区間)は、国道10号、国道218号北方延岡道路及び高千穂日之影道路、国道220号の3路線あり、延長313.7kmで全線にわたって、一次改築が完了しています。しかし、都市部及びその周辺部においては交通混雑が著しい状況になっており、現在、国道10号においてバイパス等の建設が進められています。

また、宮崎市から日南市を連絡する幹線道路である国道220号において発生している異常気象時の事前通行規制や災害による全線通行止め解消を図り、安全安心な通行の確保及び孤立集落の解消を目的とした日南防災(北区間・南区間)の事業が進められています。このうち北区間の伊比井潮風トンネル(0.9km)が令和2年4月26日に開通し、異常気象時通行規制区間が1.8km短縮されました。

| 路線名 | 箇所名 | 起点 | 終点 | 延長(km) | 年次計画 |
|------------------|------------|--------------|-----------------|--------|-------|
| 東九州自動車道 | 清武JCT～日南北郷 | 宮崎市清武町大字今泉 | 日南市北郷町大字郷ノ原 | 19.0 | H.10～ |
| 東九州自動車道(国道220号) | 日南・志布志道路 | 日南市大字東弁乙 | 日南市大字平野 | 3.2 | H.28～ |
| 〃 | 油津・夏井道路 | 日南市大字平野 | 鹿児島県志布志市大字志布志町帖 | 20.5 | H.31～ |
| 九州中央自動車道(国道218号) | 蘇陽五ヶ瀬道路 | 熊本県上益城郡山都町塩原 | 五ヶ瀬町三ヶ所 | 7.9 | R.2～ |
| 〃 | 五ヶ瀬高千穂道路 | 五ヶ瀬町三ヶ所 | 高千穂町三田井 | 9.2 | H.30～ |
| 〃 | 高千穂雲海橋道路 | 高千穂町三田井 | 日之影町七折 | 3.3 | R.3～ |
| 国道10号 | 門川日向拡幅 | 門川町草川 | 日向市平岩 | 12.8 | S.45～ |
| 〃 | 新富バイパス | 新富町日置 | 宮崎市佐土原町下田島 | 4.8 | S.41～ |
| 〃 | 都城道路 | 都城市高木町 | 都城市五十町 | 13.4 | H.11～ |
| 国道220号 | 日南防災(北区間) | 宮崎市大字内海 | 日南市大字富士 | 2.6 | H.23～ |
| 〃 | 日南防災(南区間) | 日南市宮浦 | 日南市宮浦 | 1.7 | R.2～ |

県の事業

国道の整備

県内の国道のうち、県が管理している路線は16路線で、その延長は869.4kmあり、令和3年4月1日の改良率は81.0%となっております。令和4年度は国道219号、国道327号、国道447号など8路線20工区において現道拡幅やバイパス整備を進めております。

県道の整備

県内には、195路線の県道(うち有料道路1路線、自転車道2路線を含む)があります。県道は主要地方道48路線、一般県道147路線から構成されており、令和3年4月1日現在の改良率は、主要地方道79.6%、一般県道56.5%となっております。令和4年度は宮崎西環状線や竹田五ヶ瀬線など49路線68工区において現道拡幅やバイパス整備を進めております。

宮崎県の1.5車線の道路整備

現在、地域の状況に応じた交通機能を早期に確保するため、可能な限り現道を有効活用しながら、局部改良(待避所設置、突角剪除)や1車線改良を行う1.5車線の道路整備にも取り組んでいます。

背景・必要性

- 遅れている山間部の道路整備
- 厳しい財政状況
- 道路利用者の早期整備を望む声

今まで以上に効率的・効果的な事業実施が必要

『道路構造令の解説と運用』(令和3年3月) p76

都道府県道などにおいて、地域の状況に応じた通行機能を早期に確保するため、道路構造令第3条第2項ただし書きにより、第3種第5級を採用し、1車線改良と2車線改良、局部改良などを組み合わせる整備することができる。

整備メニュー

可能な限り現道を利用しながら

- 突角剪除
- 待避所設置
- 1車線改良

地元合意のうえ
整備実施

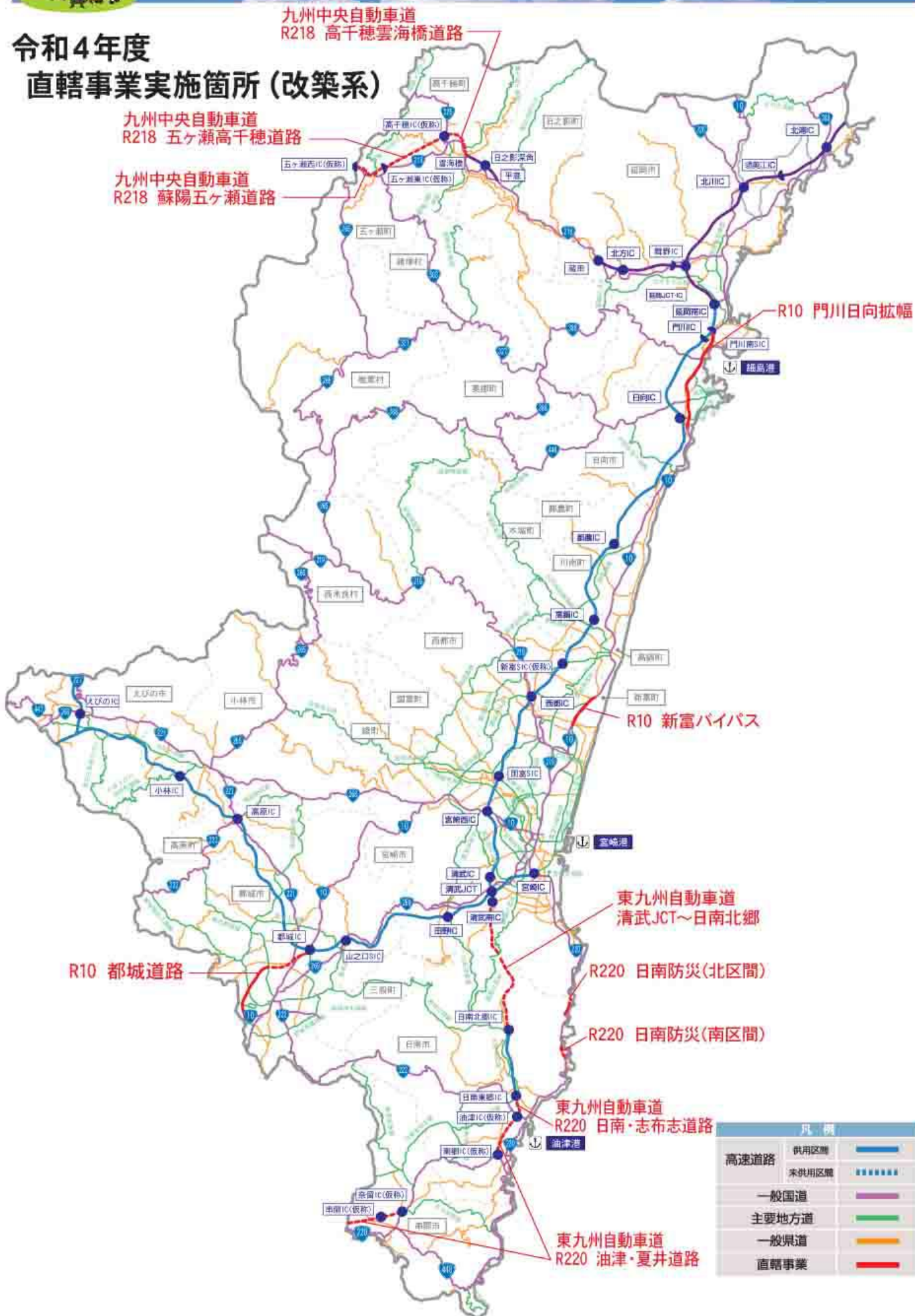
1.5車線の道路整備のイメージ図





道路の整備

令和4年度 直轄事業実施箇所(改築系)



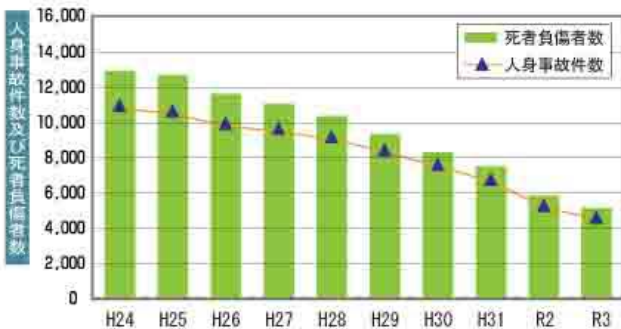
| 凡例 | | |
|-------|-------|--|
| 高速道路 | 供用区間 | |
| | 未供用区間 | |
| 一般国道 | | |
| 主要地方道 | | |
| 一般県道 | | |
| 直轄事業 | | |



道路環境の整備

道路環境の整備

過去10年間の交通事故の推移



歩道の整備状況

R3.3末現在

- ・県管理道における歩道整備率 **45.0%**
- ・法定通学路における歩道整備率 **73.8%**
- ・法定通学路における歩道整備すべき道路延長 **166.2km**

(未改良区間を含む)

安全で安心な歩行空間の整備

高齢者や障がい者などあらゆる人々が、安全で快適に通行できる歩行空間を提供するため、歩道を整備するとともに、道路のユニバーサルデザイン化を進めています。



● 高鍋高岡線(西都市妻)



無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から無電柱化を進めています。



● 国道218号(延岡市北小路)



「道の駅」による地域活性化の促進

「道の駅」において、道路利用者や地域住民が利用しやすい環境整備や観光情報の提供等により、利用者のサービス向上に取り組んでいます。また、災害時の防災拠点としての機能拡充を進めております。



● 道の駅とうごう(日向市東郷町)



● 道の駅酒谷(日南市酒谷)



道路環境の整備

●沿道修景美化の取組

道路を単に輸送のための施設としてだけでなく、利用者に快適性と心のやすらぎを与える空間として整備するという考えのもとで、道路沿いに花や木を植栽したり、除草や剪定を行い、気持ちよく利用できる道路空間の整備に努めています。

また、美しい郷土づくりを県民一丸となって推進していくために、平成29年4月に施行した「美しい宮崎づくり推進条例」においても、沿道修景美化の精神や取組はしっかりと引き継がれているとともに、中心的な施策の一つとして位置付けられています。



一般県道内海加江田線(旧国道220号 宮崎市)フェニックスほか

○沿道修景美化条例

本県観光の父と呼ばれる故岩切章太郎氏は、昭和12年頃より、日南海岸の堀切峠周辺へのフェニックスの植栽を始め、その後は「大地に絵を描く」という想いのもと、県内各地で花や木の植栽を進めました。

県では、昭和34年に全県公園化構想を打ち出し、県民運動としての郷土の美化を推進するとともに、昭和37年からは行政としての沿道修景美化の取組を始めました。

こうした先人達の取組や思いを引き継ぎ、発展させる形で、県では、昭和44年に全国に先駆けて「沿道修景美化条例」を制定し、県内の沿道において、すぐれた景観及び樹木その他の植物を保護するとともに、花木類の植栽を行うことによって、宮崎らしい「うらおい」と「やすらぎ」のある美しい道路環境の創出と保全に努めてきました。

さらに、平成29年3月には「沿道修景美化基本計画」を策定し、時代とともに生じてきた課題や環境の変化に対応しながら、県民や事業者等との協働により、地域の個性を活かしたメリハリのある沿道修景美化を推進し、観光地としての魅力の向上や活力のある地域・人づくりに取り組んでいます。

○沿道修景植栽地区：74地区(道路敷における植栽群)



主要地方道 宮崎島之内線(宮崎市)クスノキ



主要地方道 宮崎空港線(宮崎市)サンゴシドウほか



主要地方道 小林えびの高原牧園線(小林市)ハクモクレン

○沿道自然景観地区：18地区(道路から見える良好な景観地区)



国道10号(日向市)広葉樹林・河川美



国道221号(えびの市)霧島連山眺望地



国道327号(諸塚村)渓谷美

○沿道修景指定樹木：31か所、55本(道路沿いの民地にある景観上重要な樹木)



国道10号(日向市)クロガネモチ



国道388号(門川町)クロガネモチ



主要地方道 高鍋高岡線(西都市)クスノキ



道路の維持管理と老朽化対策

道路の維持管理と老朽化対策

● 道路の修繕維持

近年の交通量の増加や車両の大型化等に伴い、道路の損傷が増加しています。

このため、定期的な道路パトロールや舗装修繕等を行い、安全で快適な交通の確保に努めています。



● 都農線 (国富町)

舗装補修



● 震災対策

東日本大震災や熊本地震により道路が寸断され、機能不全に陥ったことを教訓に、道路の震災対策を進めています。

特に橋りょうが被災すると復旧に多くの時間を要し、物資輸送等に多大な影響を及ぼすため、緊急輸送道路における橋りょうの耐震補強を重点的に実施しています。



● 国道218号 千支大橋 (延岡市)

橋脚補強



● 防災対策

本県は、急峻な地形や脆弱な地質といった厳しい自然条件下にあります。

そのため、災害を未然に防止するとともに、災害が発生した場合の被害拡大を最小限に抑えるため、落石等に対する防災対策を計画的に進めています。



● ⑧国道218号 (高千穂町)

落石防護



● 「クリーンロードみやざき」について

県民の皆さんとの協働による道路環境の保全活動を推進していくため、「クリーンロードみやざき推進事業」を実施しています。この事業では、県が管理する道路においてゴミ拾いや花植え、草刈りなどの活動を行う団体に対して、以下のような支援を行っています。

- ① 美化活動に対して
清掃用具の支給または一時貸付け、苗木などの支給
- ② 草刈り活動に対して
活動奨励金の支給(一定の要件を満たす活動に限る)

令和4年3月31日現在、県内の214団体と協定を締結し、道路環境保全活動に取り組んでいただいています。



● フラワーマンス空港線花植 (宮崎市)



道路の維持管理と老朽化対策

橋梁の汗人（アセット）マネジメントについて

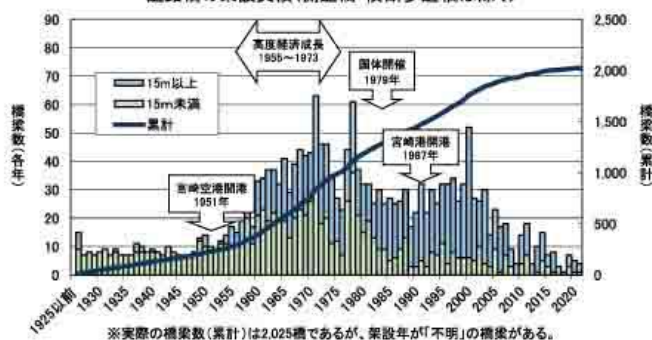
宮崎県の橋梁の現状

現在、県が管理する橋梁数（車両が通行できる道路橋）は2,025橋であり、高度経済成長期の1960年代から1970年代前半に、多くの橋梁が架けられています。

そのうち、架設後50年を経過している橋梁が全体に占める割合は43%ですが、その割合は、10年後には61%、20年後には74%と急激に高まり、高齢化が急激に進んでいきます。

このため、宮崎県では、橋梁を維持管理するにあたり、その費用の最小化と平準化を図り、県民に質の高いサービスを提供し続けることを目的とした、汗人（アセット）マネジメントに取り組んでいます。

道路橋の架設実績（側道橋・横断歩道橋は除く）



架設後の経過年数（令和4年3月時点）



橋梁の点検

常に橋梁を良好な状態に保全し安全かつ安心な交通を確保するとともに、点検結果で得られた資料を蓄積することにより合理的かつ計画的な維持管理を行うことを目的に毎年約400橋の橋梁定期点検を実施しています。



橋梁の補修

橋梁の定期点検の結果から、健全度や交通規制への影響度等を踏まえ、速やかに補修が必要と診断した橋梁を優先的・計画的に補修工事を実施しています。



維持管理費用縮減の取組

施設の老朽化に伴い、維持管理費用の増大が見込まれるため、より一層、コスト縮減を図る目的で、「集約化・撤去」や「新技術の活用」を進めています。





県北地域の道路整備

●事業中の主な箇所（県事業）

| 整備方針 | 箇所番号 | 路線名 | 工区名 | 市町村名 | 整備内容 | 担当課 | |
|-------------|---------------|---------|-----------|---------|-------|-------|-------|
| 補助 | 1 | 北方北郷線 | 川水流橋 | 延岡市 | 橋梁架替 | 道路建設課 | |
| | 2 | 国道503号 | 飯干バイパス | 諸塚村 | バイパス | | |
| | 3 | 北方土々呂線 | 沖田 | 延岡市 | 拡幅 | | |
| | 4 | 北方土々呂線 | 小野 | 延岡市 | 拡幅 | | |
| | 5 | 八重原延岡線 | 小野 | 延岡市 | 拡幅 | | |
| | 6 | 国道218号 | 天馬大橋 | 延岡市 | 橋梁補修 | 道路保全課 | |
| | 7 | 国道218号 | 千支大橋 | 延岡市 | 橋梁補修 | | |
| | 8 | 国道218号 | 津花6号橋 | 五ヶ瀬町 | 橋梁補修 | | |
| | 9 | 国道218号 | 豊海橋 | 高千穂町 | 橋梁補修 | | |
| | 10 | 国道218号 | 越次橋 | 高千穂町 | 橋梁補修 | | |
| | 11 | 国道218号 | 西の内橋 | 高千穂町 | 橋梁補修 | | |
| | 12 | 中野原美々津線 | 跨線橋 | 日向市 | 橋梁補修 | | |
| | 13 | 国道327号 | 小川吐橋 | 日向市 | 橋梁補修 | | |
| | 14 | 東郷西都線 | 上野野橋 | 日向市 | 橋梁補修 | | |
| | 15 | 高鍋美々津線 | 上石並橋 | 日向市 | 橋梁補修 | | |
| | 16 | 国道218号 | 川水流 | 延岡市 | 交通安全 | | |
| | 17 | 国道218号 | 舞野 | 延岡市 | 交通安全 | | |
| | 18 | 国道265号 | 胡麻山 | 椎葉村 | 災害防除 | | |
| | 19 | 国道265号 | 大桑の木 | 椎葉村 | 災害防除 | | |
| | 20 | 国道388号 | 前平 | 門川町 | 災害防除 | | |
| | 21 | 国道503号 | 八重の平(大白崖) | 諸塚村 | 災害防除 | | |
| | 22 | 国道388号 | 門川 | 門川町 | 災害防除 | | |
| 社会資本整備総合交付金 | 23 | 岩戸延岡線 | 黒岩 | 延岡市 | 拡幅 | 道路建設課 | |
| | 24 | 竹田五ヶ瀬線 | 土生 | 五ヶ瀬町 | 拡幅 | | |
| | 25 | 竹田五ヶ瀬線 | 夕塩 | 高千穂町 | 拡幅 | | |
| | 26 | 日之影宇目線 | 赤石 | 日之影町 | 拡幅 | | |
| | 27 | 国道503号 | 宮之元 | 諸塚村 | 拡幅 | | |
| | 28 | 諸塚高千穂線 | 赤仁田 | 高千穂町 | 拡幅 | | |
| | 29 | 国道327号 | 永田 | 日向市 | バイパス | | |
| | 30 | 国道388号 | 矢立 | 椎葉村 | 拡幅 | | |
| | 31 | 国道503号 | 龍野 | 諸塚村 | 拡幅 | | |
| 社会資本整備総合交付金 | 32 | 国道388号 | 新屋敷 | 美郷町 | 拡幅 | 道路建設課 | |
| | 33 | 国道388号 | 舟方 | 美郷町 | 拡幅 | | |
| | 34 | 竹田五ヶ瀬線 | 波瀾之瀬 | 五ヶ瀬町 | バイパス | | |
| | 35 | 下野鹿狩戸線 | 若戸3 | 高千穂町 | 交通安全 | 道路保全課 | |
| | 防災・安全交付金 | 36 | 整原畑見線 | 畑見 | 延岡市 | 拡幅 | 道路建設課 |
| | | 37 | 岩戸延岡線 | 黒岩 | 延岡市 | 拡幅 | |
| | | 38 | 板上曹木線 | 三楯 | 延岡市 | 拡幅 | |
| | | 39 | 上祝子綱の瀬線 | 下厩川 | 延岡市 | 拡幅 | |
| | | 40 | 北川北浦線 | 三川内 | 延岡市 | 拡幅 | |
| | | 41 | 高鍋美々津線 | 寺迫 | 日向市 | バイパス | |
| | | 42 | 八重原延岡線 | 阿仙原 | 門川町 | 拡幅 | |
| 43 | | 日之影宇目線 | 赤石 | 日之影町 | 拡幅 | | |
| 44 | | 北方土々呂線 | 石田 | 延岡市 | 拡幅 | | |
| 45 | | 国道388号 | 松瀬 | 門川町 | バイパス | | |
| 46 | | 上椎葉湯前線 | 六弥太 | 椎葉村 | 拡幅 | | |
| 47 | | 国道265号 | 十楯川 | 椎葉村 | バイパス | | |
| 48 | | 八重原延岡線 | 阿仙原1 | 門川町 | 拡幅 | | |
| 49 | | 国道327号 | 佐土の谷 | 椎葉村、諸塚村 | バイパス | | |
| 50 | | 国道327号 | 切瀬 | 日向市 | 拡幅 | | |
| 51 | | 国道327号 | 尾平 | 椎葉村 | バイパス | | |
| 52 | | 国道327号 | 小野田2 | 日向市 | 交通安全 | | |
| 53 | | 国道325号 | 下野 | 高千穂町 | 付加車線 | 道路保全課 | |
| 54 | | 中渡川下三ヶ線 | 杭谷 | 美郷町 | 災害防除 | | |
| 55 | 上祝子綱の瀬線 | 北方末、綱の瀬 | 延岡市 | 災害防除 | | | |
| 56 | 国道327号 | 永田 | 日向市 | 災害防除 | | | |
| 57 | 国道218号 | 古賀平 | 五ヶ瀬町 | 災害防除 | | | |
| 58 | 岩戸延岡線 | 宮長 | 延岡市 | 災害防除 | | | |
| 59 | 北川北浦線 | 松瀬 | 延岡市 | 災害防除 | | | |
| 60 | 上椎葉湯前線 | 不土野 | 椎葉村 | 災害防除 | | | |
| 61 | 日之影宇目線 | 若松山 | 日之影町 | 災害防除 | | | |
| 62 | 椎葉湯平原線(安賀多湯橋) | 横口 | 延岡市 | 拡幅 | 都市計画課 | | |

●整備状況写真



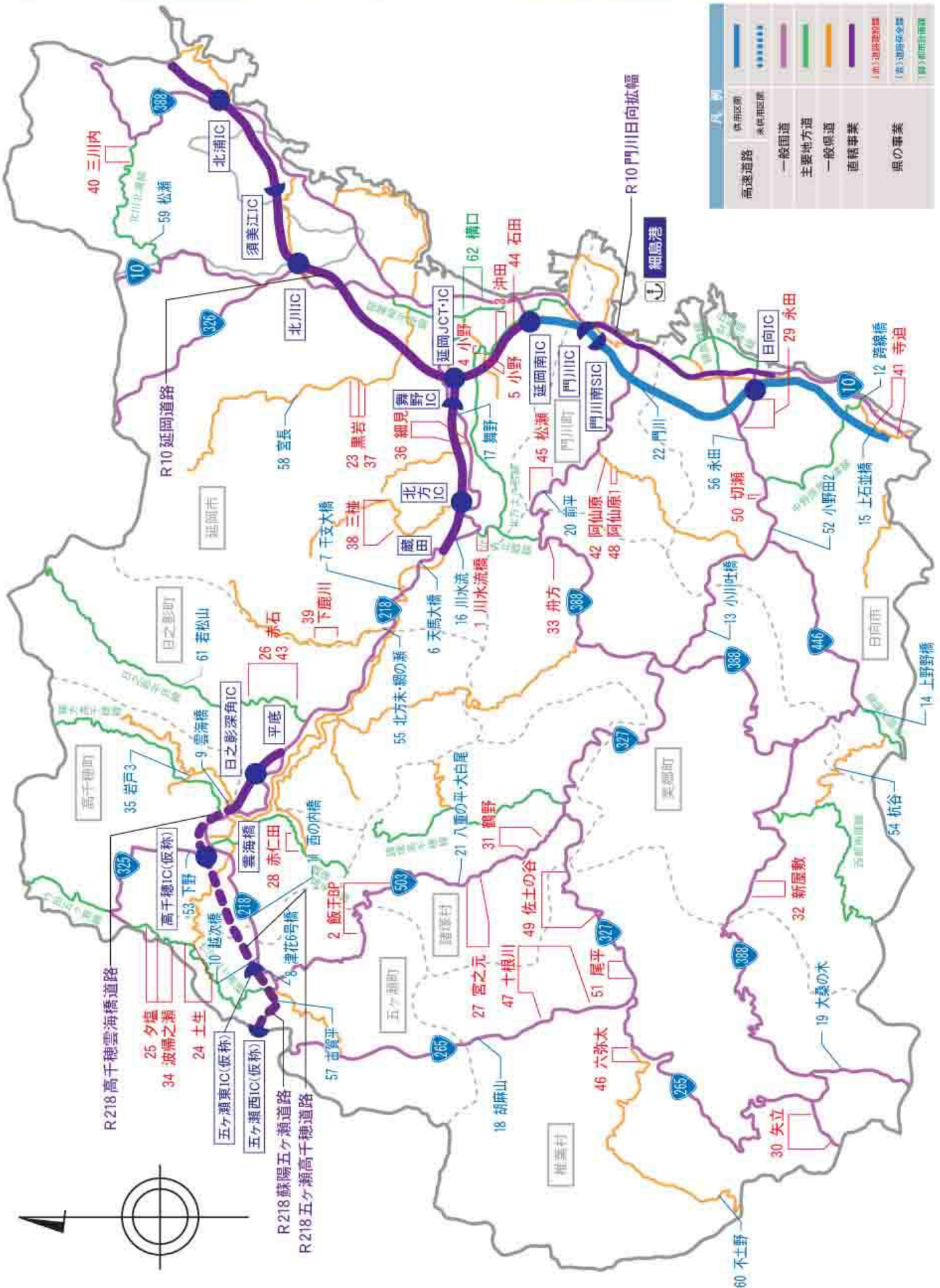
北方北郷線 川水流橋



国道327号 佐土の谷工区



県北地域の道路整備





県央地域の道路整備

●事業中の主な箇所（県事業）

| 整備方針 | 回割番号 | 路線名 | 工区名 | 市町村名 | 整備内容 | 市管課 | |
|-------------|--------------|------------|--------|---------|-------|--------|-------|
| 補助 | 1 | 学園木花台本郷北方線 | 山下 | 宮崎市 | バイパス | 道路建設課 | |
| | 2 | 川床日向新富停車場線 | 湯之宮 | 新富町 | 拡幅 | | |
| | 3 | 祖村本脇線 | 三名2 | 国富町 | 拡幅 | | |
| | 4 | 法ヶ岳本庄線 | 十日町 | 国富町 | 拡幅 | | |
| | 5 | 国道269号 | 青弁岳大橋 | 宮崎市 | 橋梁補修 | | |
| | 6 | 野首麓線 | 柳瀬橋 | 宮崎市 | 橋梁補修 | | |
| | 7 | 田代八重線 | 雁屋橋 | 綾町 | 橋梁補修 | | |
| | 補助 | 8 | 高鍋高岡線 | 三宅橋 | 西都市 | 橋梁補修 | 道路保全課 |
| | | 9 | 国道219号 | 糸瀬谷橋 | 西都市 | 橋梁補修 | |
| | | 10 | 国道219号 | 山之戸隧道 | 西米良村 | トンネル補修 | |
| | | 11 | 国道269号 | 寺町1号歩道橋 | 宮崎市 | 附属物補修 | |
| | | 12 | 内海加江田線 | 青島砂道橋 | 宮崎市 | 附属物補修 | |
| | | 13 | 宮崎須木線 | 岩知野 | 国富町 | 交通安全 | |
| | | 14 | 国道268号 | 浦之名 | 宮崎市 | 災害防除 | |
| | | 15 | 国道219号 | 山之戸 | 西米良村 | 災害防除 | |
| | | 16 | 国道265号 | 松之尾 | 西米良村 | 災害防除 | |
| 社会資本整備総合交付金 | | 17 | 宮崎須木線 | 川中 | 綾町 | 拡幅 | |
| | 18 | 宮崎西環状線 | 古城 | 宮崎市 | バイパス | | |
| | 19 | 木脇高岡線 | 宮三丸 | 宮崎市 | バイパス | | |
| | 20 | 木脇高岡線 | 太田原 | 国富町 | バイパス | | |
| | 21 | 清武南インター線 | 清武南 | 宮崎市 | IC整備 | | |
| | 22 | 高鍋高岡線 | 新富 | 新富町 | IC整備 | | |
| | 23 | 小川越野尾線 | 小川 | 西米良村 | 拡幅 | | |
| | 24 | 東郷西部線 | 松尾 | 木城町 | 拡幅 | | |
| | 25 | 東郷西部線 | 松尾ダム | 木城町 | 拡幅 | | |
| 防災・安全交付金 | 26 | 宮崎北郷線 | 平野 | 宮崎市 | 拡幅 | 道路建設課 | |
| | 27 | 杉安高鍋線 | 牛牧 | 高鍋町 | バイパス | | |
| | 28 | 高鍋高岡線 | 鐘塚橋 | 高鍋町 | 橋梁架替 | | |
| | 29 | 杉安高鍋線 | 串木 | 西都市 | 拡幅 | | |
| 防災・安全交付金 | 30 | 荒武新富線 | 新田新町 | 新富町 | 拡幅 | 道路建設課 | |
| | 31 | 宮崎田野線 | 桜町 | 宮崎市 | 拡幅 | | |
| | 32 | 国道219号 | 岩下 | 西都市 | バイパス | | |
| | 33 | 国道219号 | 越野尾 | 西米良村 | 拡幅 | | |
| | 34 | 国道219号 | 越野尾二之渡 | 西米良村 | 拡幅 | | |
| | 35 | 国道219号 | 古仏所 | 西都市 | 拡幅 | | |
| | 36 | 宮崎島之内線 | 瀬頭 | 宮崎市 | 無電柱化 | 道路保全課 | |
| | 37 | 大久保木崎線 | 通山 | 宮崎市 | 交通安全 | | |
| | 38 | 騎塚山田野停車場線 | 朝日町 | 宮崎市 | 交通安全 | | |
| | 39 | 塩鷲木崎線 | 鏡洲 | 宮崎市 | 交通安全 | | |
| | 40 | 宮崎田野線 | 鷺瀬 | 宮崎市 | 交通安全 | | |
| | 41 | 日南高岡線 | 桜町 | 宮崎市 | 交通安全 | | |
| | 42 | 高岡郡司分線 | 的野 | 宮崎市 | 交通安全 | | |
| | 43 | 宮崎須木線 | 土畑 | 綾町 | 交通安全 | | |
| | 44 | 宮崎須木線 | 南俣 | 綾町 | 無電柱化 | | |
| | 45 | 国道219号 | 南杉安 | 西都市 | 交通安全 | | |
| | 46 | 尾鈴川南停車場線 | 唐瀬 | 川南町 | 交通安全 | | |
| | 47 | 高鍋美々津線 | 通山 | 川南町 | 交通安全 | | |
| 48 | 高鍋美々津線 | 都南橋 | 都農町 | 交通安全 | | | |
| 49 | 日南高岡線 | 尾八重 | 宮崎市 | 災害防除 | | | |
| 50 | 西都南郷線 | 栗八重 | 西都市 | 災害防除 | | | |
| 51 | 東郷西部線 | 鶴橋 | 木城町 | 災害防除 | | | |
| 52 | 高鍋美々津線 | 孫谷 | 都農町 | 災害防除 | | | |
| 53 | 国道219号 | 橋之木 | 西都市 | 災害防除 | | | |
| 54 | 寒川下三財線 | 寒川 | 西都市 | 災害防除 | | | |
| 55 | 小川越野尾線 | 越野尾 | 西米良村 | 災害防除 | | | |
| 56 | 中村木崎線(中村木崎線) | 本郷 | 宮崎市 | 拡幅 | 都市計画課 | | |
| 57 | 勢田木崎線(木花邊線) | 之 | 宮崎市 | 拡幅 | | | |
| 58 | 杉安高鍋線(町小丸線) | 畑田 | 高鍋町 | 拡幅 | | | |

●整備状況写真



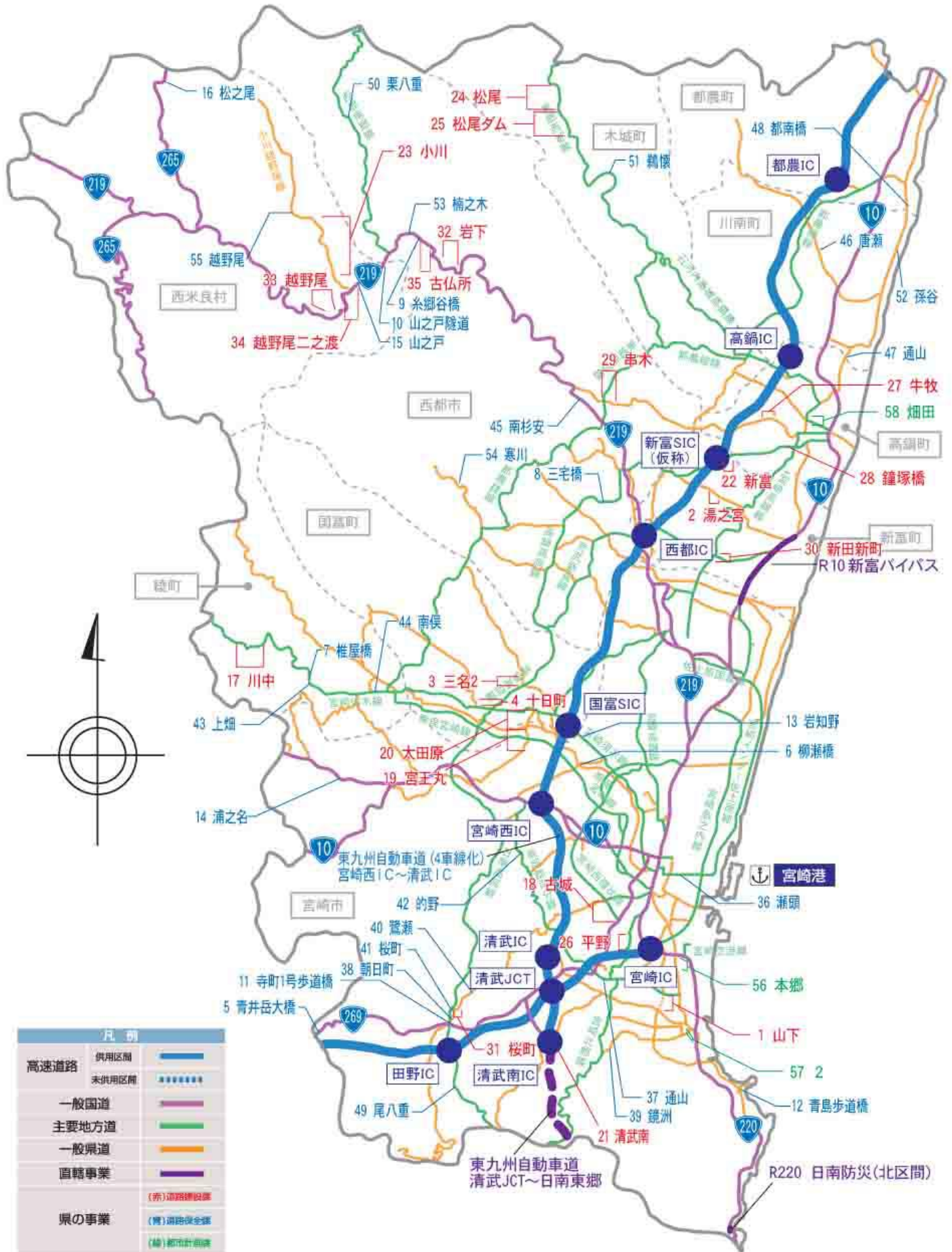
宮崎西環状線 古城工区



国道219号 越野尾工区



県央地域の道路整備





県南地域の道路整備

●事業中の主な箇所（県事業）

| 整備方針 | 箇所番号 | 路線名 | 工区名 | 市町村名 | 整備内容 | 所管課 |
|-------------|------|------------|--------|------|------|-------|
| 補助 | 1 | 国道447号 | 真幸バイパス | えびの市 | バイパス | 道路建設課 |
| | 2 | 高城山田線 | 王子橋 | 都城市 | 橋梁架替 | |
| | 3 | 石阿弥陀五日市線 | 黒仁田 | 小林市 | 拡幅 | |
| | 4 | 国道269号 | 日当瀬橋 | 都城市 | 橋梁補修 | |
| | 5 | 国道222号 | 狐谷橋 | 都城市 | 橋梁補修 | |
| | 6 | 都城野尻線 | 池之河原橋 | 都城市 | 橋梁補修 | |
| | 7 | 国道221号 | 大淀橋 | 都城市 | 橋梁補修 | |
| | 8 | 国道221号 | 椎の木橋 | 都城市 | 橋梁補修 | |
| | 9 | 中方塚庄内線 | 天神橋 | 都城市 | 橋梁補修 | |
| | 10 | 国道221号 | 露の大橋 | えびの市 | 橋梁補修 | |
| | 11 | 都城北郷線 | 段野橋 | 日南市 | 橋梁補修 | 道路保全課 |
| | 12 | 国道448号 | 宮の浦大橋 | 串間市 | 橋梁補修 | |
| | 13 | 国道221号 | 新田 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 14 | 国道269号 | 今町 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 15 | 財部庄内安久線 | 乙房 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 16 | 国道221号 | 横谷 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 17 | 高城山田線 | 志和池 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 18 | 国道268号 | 栗須 | 小林市 | 交通安全 | |
| | 19 | 小林えびの高原牧園線 | 堀ノ内 | 小林市 | 交通安全 | |
| | 20 | 国道222号 | 坂元 | 日南市 | 災害防除 | |
| 社会資本整備総合交付金 | 21 | 宮崎須木線 | 小野 | 小林市 | 拡幅 | 道路建設課 |
| | 22 | 有水高原線 | 木場谷 | 高原町 | 拡幅 | |
| | 23 | 京町小林線 | 轟木 | 小林市 | 拡幅 | |
| | 24 | 高千穂峠狭野線 | 狭野 | 高原町 | 拡幅 | |
| | 25 | 都城霧島公園線 | 横市橋 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 26 | 国道269号 | 麓 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 27 | 国道269号 | 脇別府 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 28 | 奈佐木高岡線 | 猪之口 | 小林市 | バイパス | |
| | 29 | 北方南郷線 | 秋山 | 串間市 | 拡幅 | |
| | 30 | 酒谷榎原線 | 種子田 | 日南市 | 拡幅 | |
| | 31 | えびの高原小田線 | 末永 | えびの市 | 拡幅 | |

| 整備方針 | 箇所番号 | 路線名 | 工区名 | 市町村名 | 整備内容 | 所管課 |
|----------|------|-----------------|-------|------|------|-------|
| 防災・安全交付金 | 32 | 京町小林線 | 京町 | えびの市 | 拡幅 | 道路建設課 |
| | 33 | 有水高原線 | 中尾 | 高原町 | 拡幅 | |
| | 34 | 都井西方線 | 港 | 串間市 | 拡幅 | |
| | 35 | 都城野尻線 | 椎屋 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 36 | 都城東環状線 | 麓 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 37 | 仏坂大堂津線 | 細田 | 日南市 | 拡幅 | |
| | 38 | 都城北郷線 | 長田 | 三股市 | 拡幅 | |
| | 39 | 宮崎北郷線 | 山坂屋 | 日南市 | 拡幅 | |
| | 40 | 市木串間線 | 牧内 | 串間市 | バイパス | |
| | 41 | 北方南郷線 | 碓上 | 日南市 | 拡幅 | |
| | 42 | 馬渡大川原線 | 馬渡 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 43 | 国道448号 | 石渡 | 串間市 | バイパス | |
| | 44 | 酒谷榎原線 | 下塚田 | 日南市 | 拡幅 | |
| | 45 | 市木南郷線 | 贅涼 | 日南市 | 拡幅 | |
| | 46 | 一氏西方線 | 矢床 | 串間市 | 拡幅 | |
| | 47 | 元狩倉日南線 | 飯肥 | 日南市 | 交通安全 | |
| | 48 | 元狩倉日南線 | 飯肥2 | 日南市 | 交通安全 | |
| | 49 | 国道448号 | 蔵元 | 串間市 | 交通安全 | |
| | 50 | 御池都城線 | 大根田 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 51 | 国道269号 | 栄町 | 都城市 | 無電柱化 | |
| | 52 | 国道269号 | 栄町2 | 都城市 | 無電柱化 | |
| | 53 | 国道269号 | 北原 | 都城市 | 交通安全 | |
| | 54 | 国道221号 | 麓 | えびの市 | 交通安全 | |
| | 55 | 国道221号 | 下麓 | 高原町 | 交通安全 | |
| | 56 | 国道268号 | 紙屋 | 小林市 | 付加車線 | |
| | 57 | 国道222号 | 赤松 | 日南市 | 災害防除 | |
| | 58 | 国道222号 | 白木俣 | 日南市 | 災害防除 | |
| | 59 | 国道448号 | 本牧 | 串間市 | 災害防除 | |
| | 60 | 国道223号 | 夏尾 | 都城市 | 災害防除 | |
| | 61 | 国道265号 | 須木中原 | 小林市 | 災害防除 | |
| | 62 | 都城霧島公園線(厚新地下通路) | 鷹尾袋原 | 都城市 | 拡幅 | 都市計画課 |
| | 63 | 御池都城線(中央西通路) | 大王 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 64 | 都城霧島公園線(厚新地下通路) | 鷹尾袋原北 | 都城市 | 拡幅 | |
| | 65 | 霧島公園小林線(唐守線) | 北八反 | 小林市 | 拡幅 | |

●整備状況写真



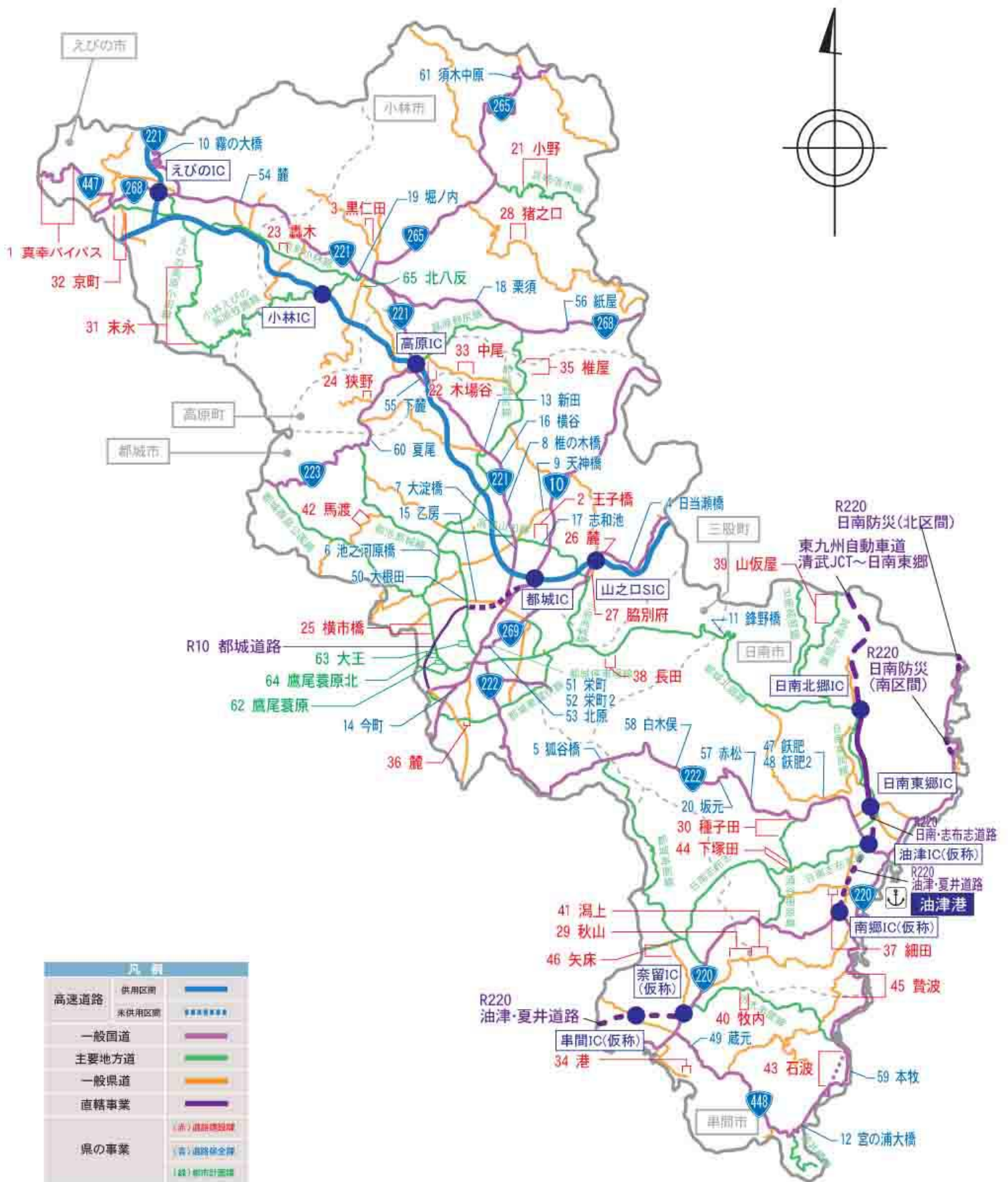
酒谷榎原線 種子田工区



国道447号 真幸工区

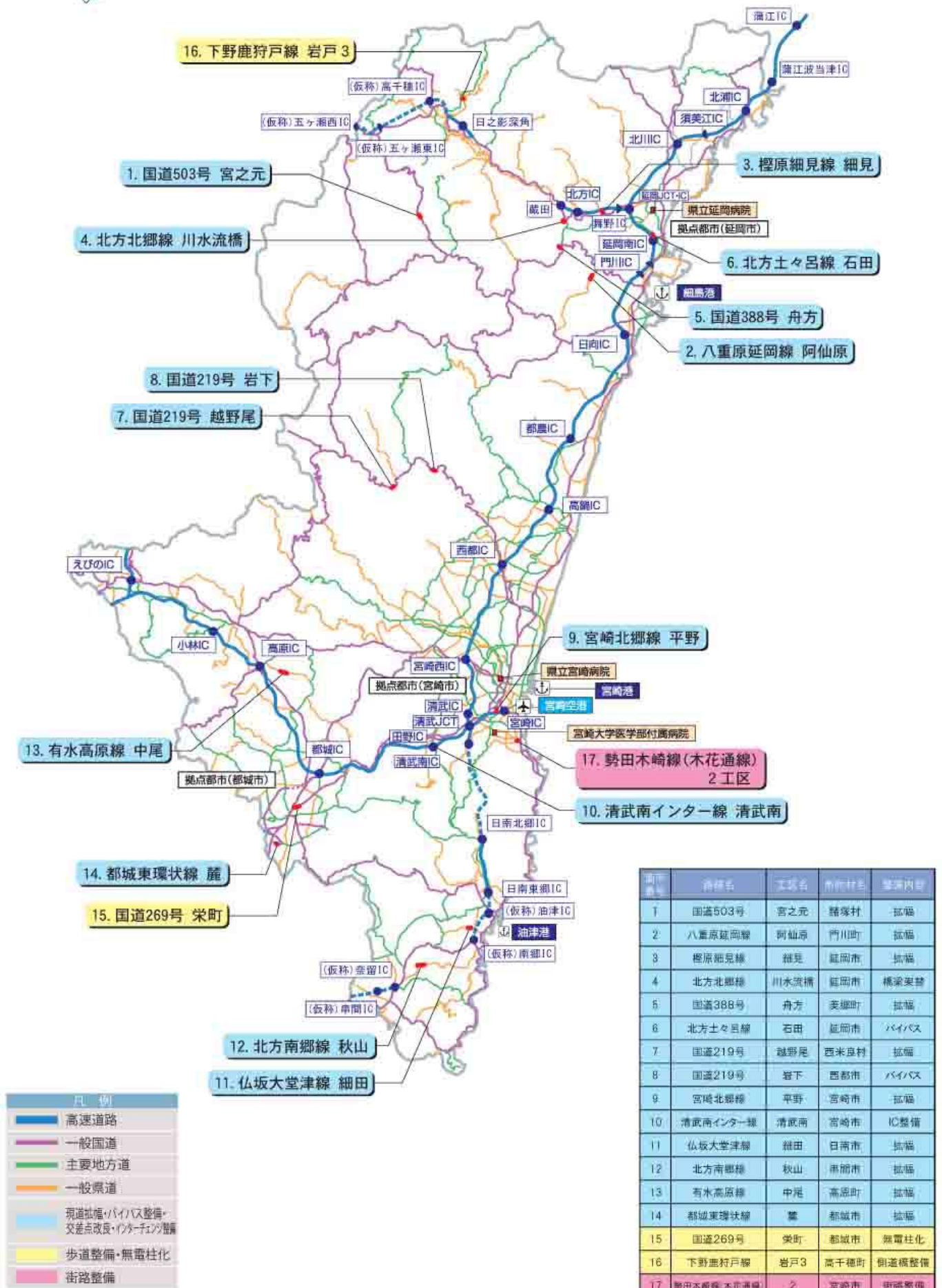


県南地域の道路整備





令和4年度県事業の主な完成・供用予定工区





一般有料道路

現在、有料道路の種類としては、高速自動車道、都市高速道路、一般有料道路、有料橋・有料渡船施設があります。

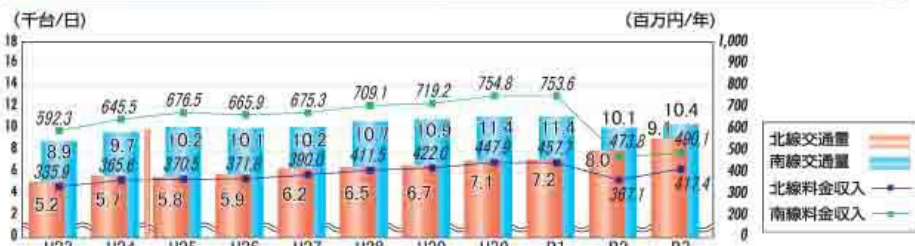
このうち、一般有料道路は、道路整備特別措置法に基づき建設した有料の一般国道、都道府県道、市町村道で、その建設費を通行料金収入で償還するものです。建設にあたっては、利用によって距離や時間が短縮されること、および代替道路が存在していることが条件となります。

一ツ葉有料道路

- 有料道路名 / 一ツ葉有料道路(宮崎県道路公社管理) ● 延長 / 16.2キロメートル
- 路線名 / 県道宮崎インター佐土原線 ● 道路規格 / 第3種2級
- 区間 / (北線) 宮崎市昭栄町から宮崎市佐土原町下那珂まで
(南線) 宮崎市田代町から宮崎市大字郡司分まで
- 事業費 / 214億円 ● 事業の追加 / 橋梁の耐震対策(3橋)
- 工期 / (北線) 昭和46年12月～昭和49年3月 防災避難関連施設整備
(南線) 昭和50年3月～昭和56年3月 (道路情報板、Uターン整備等)
- 料金徴収期間 / 昭和49年4月2日～令和12年2月28日

● 一ツ葉有料道路 / 通行料金 (単位:円) ※回数券あり (令和2年2月29日より料金値下げ)

| 区分 | 普通車 | 大型車Ⅰ | 大型車Ⅱ | 軽自動車等 | 軽車両等 | |
|---------|-----------|------|-------|-------|------|----|
| 一ツ葉有料道路 | 300 | 500 | 1,100 | 200 | 40 | |
| 北線 | 本線区間 | 150 | 250 | 550 | 100 | 20 |
| | 住吉区間・山崎区間 | 100 | 150 | 350 | 100 | 10 |
| 南線 | 150 | 250 | 550 | 100 | 20 | |



県道日知屋財光寺線 (小倉ヶ浜有料道路)

- 有料道路名 / 小倉ヶ浜有料道路(宮崎県道路公社管理) ● 延長 / 360メートル
- 路線名 / 県道日知屋財光寺線 ● 道路規格 / 第4種2級
- 区間 / 日向市大字日知屋から大字財光寺まで
- 事業費 / 11億円
- 工期 / 昭和57年2月～昭和59年3月
- 料金徴収期間 / 昭和59年3月30日～平成25年5月9日 (平成25年5月10日に無料化)



一般国道10号 延岡南道路

- 有料道路名 / 延岡南道路(西日本高速道路(株)管理) ● 延長 / 3.7キロメートル
- 区間 / 延岡市伊形町から東臼杵郡門川町大字加草まで ● 道路規格 / 第1種3級
- 事業費 / 86億円
- 工期 / 昭和61年～平成2年

● 延岡南道路 / 通行料金 (※当面、令和6年3月31日まで)

| | 軽自動車等 | 普通車 | 中型車 | 大型車 | 特大車 |
|-------------|-------|------|------|------|------|
| ETC車 | 250円 | 250円 | 250円 | 280円 | 360円 |
| 非ETC車(現行通り) | 270円 | 270円 | 270円 | 420円 | 950円 |

● 延岡南ICを經由して乗り直した場合の通行料金について (中型車以上のETC車)

延岡市内の生活道路への交通流入を抑制するために、中型車以上(中型車、大型車、特大車)のETC車で「延岡南IC」と「門川南スマートIC」または「日向IC」を一定時間内に(※)に乗り直した場合、E10東九州自動車道(延岡南道路)の通行料が必要となります。



※延岡南IC⇄門川南スマートICを20分以内、延岡南IC⇄日向ICを45分以内に乗り直した場合、E10東九州自動車道(延岡南道路)の通行料金(中型車250円、大型車280円、特大車360円)をいただきます。なお、乗り直し時間については、実際の交通状況を踏まえて変更する場合があります。

「延岡南IC」と「門川南スマートIC」または「日向IC」を經由して一定時間内に乗り直した場合に料金が必要となる走行





令和3年度道路整備完成事例

国道327号 尾平工区 (椎葉村)

一般国道327号は、日向市を起点とし、美郷町、諸塚村、椎葉村等を経由し熊本県に至る路線であり、日向・入郷圏域の交流連携や産業振興、さらには、救急医療や災害時の救援活動など「命の道」としての役割を果たす重要な路線となっています。

尾平工区は、幅員狭小、線形不良の解消を図るとともに、防災点検の要対策箇所を迂回する安全で円滑な交通の確保を目的として延長2.0kmのバイパス整備を進めてきました。

尾平工区の完成により、安全で安心な交通が確保されるとともに、地域間の連携強化や救急医療施設等へのアクセス性の向上など緊急輸送道路としての機能向上につながりました。



【期待される整備効果】

- 安全で安心な交通を確保
- 地域間の連携の強化、地域の産業振興等を支援
- 救急医療施設等へのアクセス性の向上
- 緊急輸送道路としての機能向上



整備前
幅員が狭く、離合が困難な状況

交通途絶発生！



整備前 道路災害状況
平成27年6月20日発生 交通途絶：3日間



整備後



令和3年度道路整備完成事例

国道222号 春日工区(日南市)



一般国道222号は、宮崎県の主要都市である都城市と連絡する重要な幹線道路であり、産業や文化・経済の交流を支える重要な道路です。また、当路線は緊急輸送道路の指定路線であり、異常気象等による災害時においても道路機能を確保する必要があります。

春日工区は、日南市の油津市街地に位置し、周辺には重要港湾である油津港や県立日南病院、幼保育園、小学校等の施設が集積しており、通勤通学による歩行者等が多い一方で、歩道内の電柱や段差により、歩行しづらい状況にあったため、交通安全対策として無電柱化を進めてきました。

春日工区の完成により、歩行者等の安全が確保されるとともに、緊急輸送道路及び啓開道路としての機能向上につながりました。

整備前



整備後



都市計画道路 松小路通線 松小路工区(宮崎市)



都市計画道路・松小路通線(主要地方道 宮崎インター佐土原線)は、宮崎市中心部と佐土原町市街地とを南北に結ぶ幹線道路です。

松小路工区は、小学校の通学路に指定されているものの交差点付近の既設歩道は幅員が狭く、一部区間においては、歩道が未整備であり、歩行者が通行車両と交錯し、大変危険な状態となっていたため、交通安全対策として街路整備を進めてきました。

松小路工区の完成により、十分な幅員の両側歩道が設置され、通学児童を始めとした歩行者・自転車通行者の安全性の向上や、交通の円滑化につながりました。

整備前



整備後





緊急輸送道路

県は、陸上、水上及び空の交通手段を活用した効率的な緊急輸送を行うため、地域の現況等に基づいて、隣接県の主要道路と、県内の防災拠点及び緊急輸送拠点を結ぶ緊急輸送道路を選定

緊急輸送道路ネットワーク計画図

第1次緊急輸送道路ネットワーク

県庁所在地、地方中心都市および重要港湾、空港等を連絡する道路

第2次緊急輸送道路ネットワーク

第1次緊急輸送道路と市町村役場(支所含む)、主要な防災拠点(行政機関、公共機関、主要駅、港湾、ヘリポート、災害医療拠点、自衛隊等)を連絡する道路

【2次ネットワーク路線】

| 番号 | 路線名 |
|----|-----------|
| 1 | 一般国道265号 |
| 2 | 一般国道269号 |
| 3 | 国道269号B.P |
| 4 | 一般国道218号 |
| 5 | 一般国道388号 |
| 6 | 一般国道447号 |
| 7 | 一般国道448号 |
| 8 | 一般国道503号 |
| 9 | 宮崎県道 |
| 10 | 宮崎県道 |
| 11 | 宮崎県道 |
| 12 | 宮崎県道 |
| 13 | 宮崎県道 |
| 14 | 宮崎県道 |
| 15 | 宮崎県道 |
| 16 | 宮崎県道 |
| 17 | 宮崎県道 |
| 18 | 宮崎県道 |
| 19 | 宮崎県道 |
| 20 | 宮崎県道 |
| 21 | 宮崎県道 |
| 22 | 宮崎県道 |
| 23 | 宮崎県道 |
| 24 | 宮崎県道 |
| 25 | 宮崎県道 |
| 26 | 宮崎県道 |
| 27 | 宮崎県道 |
| 28 | 宮崎県道 |
| 29 | 宮崎県道 |
| 30 | 宮崎県道 |
| 31 | 宮崎県道 |
| 32 | 宮崎県道 |
| 33 | 宮崎県道 |
| 34 | 宮崎県道 |
| 35 | 宮崎県道 |
| 36 | 宮崎県道 |

凡例

- 県庁
- 地域中心都市
- 市町村役場(支所含む)
- 第1次ネットワーク
- 第2次ネットワーク
- 第1次ネットワーク(未供用)R4.3.31時点
- 第2次ネットワーク(未供用)R4.3.31時点
- 耐震強化岸壁

1次ネットワーク路線延長 1307km (62路線)
 2次ネットワーク路線延長 563km (36路線)
 総路線延長 1870km (94路線)
 ※1次・2次混合(4路線)

【1次ネットワーク路線】

| 番号 | 路線名 |
|----|---------------|
| 1 | 九州自動車道 |
| 2 | 宮崎自動車道 |
| 3 | 東九州自動車道 |
| 4 | 国道10号 延岡道路 |
| 5 | 国道10号B.P |
| 6 | 国道218号 |
| 7 | 国道218号 北方延長道路 |
| 8 | 一般国道219号 |
| 9 | 国道219号B.P |
| 10 | 国道220号 |
| 11 | 一般国道222号 |
| 12 | 一般国道223号 |
| 13 | 一般国道258号 |
| 14 | 一般国道325号 |
| 15 | 一般国道326号 |
| 16 | 一般国道327号 |
| 17 | 宮崎県道 |
| 18 | 宮崎県道 |
| 19 | 宮崎県道 |
| 20 | 宮崎県道 |
| 21 | 宮崎県道 |
| 22 | 宮崎県道 |
| 23 | 宮崎県道 |
| 24 | 宮崎県道 |
| 25 | 宮崎県道 |
| 26 | 宮崎県道 |
| 27 | 宮崎県道 |
| 28 | 宮崎県道 |
| 29 | 宮崎県道 |
| 30 | 宮崎県道 |
| 31 | 宮崎県道 |
| 32 | 宮崎県道 |
| 33 | 宮崎県道 |
| 34 | 宮崎県道 |
| 35 | 宮崎県道 |
| 36 | 宮崎県道 |
| 37 | 宮崎県道 |
| 38 | 宮崎県道 |
| 39 | 宮崎県道 |
| 40 | 宮崎県道 |
| 41 | 宮崎県道 |
| 42 | 宮崎県道 |
| 43 | 宮崎県道 |
| 44 | 宮崎県道 |
| 45 | 宮崎県道 |
| 46 | 宮崎県道 |
| 47 | 宮崎県道 |
| 48 | 宮崎県道 |
| 49 | 宮崎県道 |
| 50 | 宮崎県道 |
| 51 | 宮崎県道 |
| 52 | 宮崎県道 |
| 53 | 宮崎県道 |
| 54 | 宮崎県道 |
| 55 | 宮崎県道 |
| 56 | 宮崎県道 |
| 57 | 宮崎県道 |
| 58 | 宮崎県道 |
| 59 | 宮崎県道 |
| 60 | 宮崎県道 |
| 61 | 宮崎県道 |
| 62 | 宮崎県道 |





重要物流道路

平成30年に道路法の改正が行われ、国土交通省大臣が物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として指定し、国際海上コンテナ車（40ft 背高）の特車通行許可を不要とする措置の導入や災害時の道路啓開・災害復旧を国が代行する制度を導入。

●重要物流道路

高規格幹線道路や直轄国道、都市高速道路及び主要な拠点へのラストマイル

●代替・補完路

重要物流道路の脆弱区間の代替路や災害拠点への補完路

●構造基準の引き上げ

重要物流道路は、構造基準(高さ)4.5mから4.8mに引き上げ、高さ4.1mの車両に対応



<運絡する拠点>

| | | |
|--------|---------------------------------|---|
| 重要物流道路 | 都市(地方中核都市等) | ● |
| | 空港・港湾・鉄道貨物駅(拠点空港、重要港湾、コンテナ取扱駅等) | ○ |
| 代替・補完路 | 物流拠点(トラックターミナル、工業団地等) | ○ |
| | 都市(市区町村の役場) | ● |
| | 防災拠点(備蓄基地、総合病院等) | ○ |

— 重要物流道路
— 代替・補完路



道路整備年表 (明治～昭和)

明治 6年 美々津、都城2県を廃して宮崎県を置く
 明治16年 宮崎県庁開庁
 明治21年 延岡～高千穂間に県道開通
 明治25年 山仮屋トンネル(れんが造り)完成
 宮崎～人吉間県道開通
 明治26年 一里松～榎原間の県道開通
 明治27年 飫肥～福島間の県道開通
 明治28年 県道山陰～高間開通
 明治30年 旧国道10号の開通
 明治33年 県道富高～坪谷間開通
 明治35年 県道宮崎～綾間開通
 明治36年 県道細島～神門間開通
 明治38年 県道神門～鬼神野間開通
 明治43年 矢岳トンネル開通

大正 3年 日之影～深角間新県道開通
 大正 4年 宮崎～綾間新県道開通
 大正 7年 熊田～下赤間道路開通
 大正 8年 日南海岸道路が県道認定
 大正12年 赤江橋(城ヶ崎～吾妻街)完成
 大正14年 高松橋完成

昭和 1年 大園橋～旧鹿狩戸間の新県道開設
 昭和 4年 油津岩橋～東郷間の県道開設
 昭和 5年 日向市～諸塚村まで完成
 昭和 7年 橋橋(永久橋5代目)完成
 昭和 8年 椎葉街道完成
 県道南田原、県道日向長井線開設
 昭和 9年 美々津橋、五ヶ瀬橋完成、富高橋完成

昭和10年 綾、高岡線開設
 昭和14年 日之影線開通
 昭和17年 東郷橋完成

昭和23年 小丸大橋完成
 昭和24年 東郷橋、八重原橋完成
 昭和25年 花見橋(永久橋)完成
 昭和26年 浦尻～延岡間の県道開通
 昭和27年 旧国道3号線を1級国道として指定
 塩見橋(永久橋)完成
 昭和28年 五十鈴橋完成
 昭和29年 第一次5箇年計画スタート

昭和30年 高千穂大橋(上路アーチ橋)完成
 昭和31年 椎屋トンネル完成
 昭和32年 宮崎大橋完成
 昭和33年 鶴戸トンネル貫通
 昭和34年 宮崎空港線県道認定
 昭和35年 小林～えびの霧島公園線を県道認定
 霧島有料道路開通
 昭和37年 国道10号開通
 昭和38年 越野尾橋完成(ディビダーク式で日本一)
 小林阿蘇線国道265号となる
 昭和39年 一ツ瀬橋完成



4代目橋樑



昭和30年代の日南海岸

昭和40年 宮崎須木線開通
 昭和42年 国道10号1次改築完成
 美々津大橋完成
 昭和44年 日向～人吉線国道327号となる
 高千穂～大津線、延岡～三重線国道昇格
 日南都井線(都井～夫婦浦)開通
 昭和45年 国道10号高城バイパス暫定完成
 昭和46年 加久藤トンネル完成
 昭和47年 国道10号都農バイパス開通
 国道10号川南バイパス完成
 昭和48年 一ツ葉有料道路1期工事完成
 昭和49年 県道延岡佐伯線国道388号となる

昭和50年 国道10号延岡バイパス開通
 国道218号津花日之影バイパス開通
 昭和51年 新加久藤橋完成
 九州縦貫自動車道えびの～高原間開通
 昭和54年 国道220号宮崎南バイパス開通
 国道10号高岡バイパス開通
 新橋橋(6代目)4車線開通
 昭和56年 一ツ葉有料道路2期工事完成
 一ツ葉大橋完成
 九州縦貫自動車道宮崎線全線開通
 綾～宮崎間自転車道完成
 延岡大橋完成
 昭和57年 宮崎南バイパス全線開通
 樋渡橋完成
 昭和58年 国道222号飫肥本町完成
 昭和59年 小倉ヶ浜有料道路完成

昭和60年 青雲橋完成
 国道220号内海トンネル完成
 昭和62年 佐土原バイパス全線開通
 土々呂バイパス一部(6kmのうち2km)開通



昭和35年霧島道路開通



道路整備年表 (平成～令和)

| | |
|-------|---|
| 平成 2年 | 延岡南道路完成 |
| 平成 3年 | 鶴ノ木拡幅完成 (1,800m) 青島・日南改良鶴戸地区完成 |
| 平成 5年 | 宮崎北バイパス (1,920m) 一部供用開始 県道日南高岡線開通 九州縦貫自動車道加久藤トンネル貫通 |
| 平成 6年 | 広域農道尾鈴サンロード全線開通 |
| 平成 7年 | 九州縦貫自動車道えびの～人吉間開通 青島バイパス一部供用開始 日之影バイパス全線開通 牛ノ峠 (5,700m) 一部供用開始 |
| 平成 8年 | 国見バイパス全線開通 諸塚高千穂線青葉大橋完成 |
| 平成 9年 | 国道388号須美江バイパス開通 国道327号橋バイパス開通 国道10号宮崎北バイパス全線開通 国道269号梅谷バイパス一部供用開始 |
| 平成10年 | 国道388号東谷バイパス全線開通 国道326号三國峠道路全線開通 大瀬大橋完成 |
| 平成11年 | 国道219号岩井谷バイパス開通 |
| 平成12年 | 東九州自動車道 清武～宮崎西開通 国道10号宮崎西バイパス全線開通 国道10号宮崎北バイパス四車線化完成 国道388号浦城バイパス開通 |
| 平成13年 | 東九州自動車道 西都～宮崎西開通 国道220号高土小目井バイパス開通 国道219号春田バイパス一部供用開始 |
| 平成14年 | 東郷西都線全線開通 国道447号内堅バイパス全線開通 宮崎西環状線一部供用開始 (柏田工区) |
| 平成15年 | 国道218号高千穂バイパス全線開通 石河内高城高鍋線小丸橋開通 宮崎西環状線一部供用開始 (浮田工区) |
| 平成16年 | 国道448号宇戸バイパス全線開通 国道219号春田バイパス全線開通 国道325号田原バイパス全線開通 国道219号板谷拡幅全線開通 国道388号和田越バイパス全線開通 九州縦貫自動車道 えびの～人吉間4車線化完成 国道327号恵後の崎バイパス全線開通 |
| 平成17年 | 国道219号中尾バイパス全線開通 延岡インター線 全線2車線開通 |
| 平成18年 | 国道10号延岡道路 延岡～延岡南間開通 国道220号青島バイパス全線開通 国道218号北方延岡道路 舞野～延岡間開通 国道269号天満バイパス全線開通 国道265号中椎葉バイパス開通 国道388号無鹿バイパス開通 |
| 平成19年 | 国道10号花見改良開通 国道265号下椎葉拡幅開通 国道269号梅谷バイパス開通 |



延岡JCT

| | |
|-----------------|--|
| 平成20年 | 国道220号折生迫～内海間開通 宮崎西環状線一部供用開始 (北川内工区) 国道218号北方延岡道路 北方IC～舞野間開通 北方インター線開通 国道269号加納バイパス開通 |
| 平成21年 | 国道448号名谷バイパス開通 |
| 平成22年 | 国道219号園元バイパス開通 東九州自動車道 高鍋～西都開通 高鍋インター線開通 東九州自動車道 門川～日向開通 |
| 平成23年 | 国道327号岩屋戸バイパス開通 都城志布志道路一部供用 (五十町IC～梅北IC) 国道325号河内バイパス開通 |
| 平成24年 | 都城志布志道路一部供用 (平塚IC～五十町IC) 五ヶ瀬大橋完成 東九州自動車道 須美江～北川開通 須美江インター線開通 国道10号延岡道路 北川～延岡開通 東九州自動車道 都農～高鍋開通 都農インター線開通 |
| 平成25年 | 東九州自動車道 蒲江～北浦開通 東九州自動車道 清武～清武南開通 清武南インター線開通 国道218号岡富拡幅開通 小倉ヶ浜有料道路無料化 |
| 平成26年 | 東九州自動車道 北浦～須美江開通 東九州自動車道 日向～都農開通 国道327号石原バイパス開通 国道327号日向バイパス開通 国道388号日平バイパス開通 |
| 平成27年 | 宮崎西環状線松橋工区開通 東九州自動車道 佐伯～蒲江開通 (宮崎市～大分市全線開通) 国道218号北方延岡道路 葦田～北方開通 |
| 平成28年 | 東九州自動車道 椎田南～皇和開通 (宮崎市～北九州市全線開通) 国道219号 十五番工区開通 宮崎高鍋線 那珂工区開通 九州縦貫自動車道 山之口SIC開通 |
| 平成29年 | 国道448号 夫婦浦工区開通 東九州自動車道 門川南SIC開通 |
| 平成30年 | 東九州自動車道 日南北郷～日南東郷開通 都城志布志道路一部供用 (梅北IC～金御岳IC) 九州中央自動車道 高千穂日之影道路 (雲海橋交差点～日之影深角IC開通) |
| 平成31年 (令和元年) | 国道10号 都城道路 横市～平塚開通 東九州自動車道 国富SIC開通 |
| 令和 2年 | 国道219号 広瀬バイパス開通 国道220号 日南防災 (北区間) 伊比井潮風トンネル開通 高鍋高岡線 本庄橋開通 (架替) |
| 令和 3年 | 都城志布志道路一部供用 (金御岳IC～末吉IC) 九州中央自動車道 高千穂日之影道路 (日之影深角IC～平底交差点開通) 国道327号 尾平トンネル開通 |
| 令和 4年 | 都城志布志道路一部供用 (乙房IC～横市IC) |



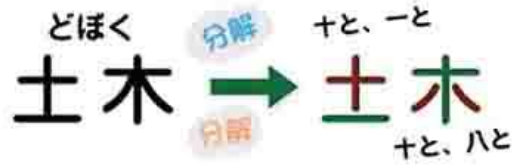
都城志布志道路 金御岳IC～末吉IC



8月4日は「橋の日」



8月10日は「道の日」
道路ふれあい月間
(8月1日～8月31日)



11月18日は「土木の日」



道路の管理

| 道路の種類 | 管理者 | 名称 | 管理する機関(窓口) | | |
|---------|----------------------|-------------------|------------------------------------|---------------|--|
| | | | 所在地 | 電話 | 管轄区域 |
| 高速自動車道 | 西日本 高速道路(株) | 九州支社 宮崎高速道路事務所 | 〒880-2114 宮崎市大字富吉字釘ノ前1389-1 | 0985-89-2535 | えびのIC～宮崎IC(九州縦貫自動車道) 延岡南IC～清武南IC(東九州自動車道) |
| 国 道 | 指定区間 国土交通省 | 宮崎河川国道事務所 | 〒880-8523 宮崎市大工2-39 | 0985-24-8221 | 一般国道10号(都農町～都城市) 一般国道220号(宮崎市～串間市) 東九州自動車道(日南北郷IC～日南東郷IC) 一般国道10号(延岡市～日向市) 一般国道218号(延岡市～高千穂日之影道路 東九州自動車道(大分県境～延岡南IC)) |
| | | 延岡河川国道事務所 | 〒882-0803 延岡市大貫町1-2889 | 0982-31-1155 | |
| 県 道 | 指定区間外 宮 崎 県 | 宮崎土木事務所 | 〒880-0805 宮崎市橋通東1-9-10 | 0985-26-7285 | 宮崎市(旧高岡町を除く) |
| | | 日南土木事務所 | 〒887-0031 日南市戸高1-12-1 | 0987-23-4661 | 日南市 |
| | | 串間土木事務所 | 〒888-0001 串間市大字西方8970 | 0987-72-0134 | 串間市 |
| | | 都城土木事務所 | 〒885-0024 都城市北原町24-21 | 0986-23-4512 | 都城市、三股町 |
| | | 小林土木事務所 | 〒886-0004 小林市細野367-2 | 0984-23-5165 | 小林市、えびの市、高原町 |
| | | 高岡土木事務所 | 〒880-2221 宮崎市高岡町内山3100 | 0985-82-1155 | 宮崎市(旧高岡町)、国高町、綾町 |
| | | 西都土木事務所 | 〒881-0005 西都市大字三宅字下鶴9451 | 0983-43-2221 | 西都市、西米良村、椎葉村の南部 |
| | | 高鍋土木事務所 | 〒884-0002 児湯郡高鍋町大字北高鍋中須ノ三3870-1 | 0983-23-0001 | 高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町 |
| | | 日向土木事務所 | 〒883-0046 日向市中町2-14 | 0982-52-4171 | 日向市、門川町、踏塚村、椎葉村の北部 美郷町 |
| | | 延岡土木事務所 | 〒882-0872 延岡市愛宕町2-15 | 0982-21-6143 | 延岡市 |
| 市町村道 | 市町村 | 各市町村道路担当課 | | | |
| 一ツ葉有料道路 | 宮崎県 道路公社 | 宮崎県道路公社 | 〒880-0805 宮崎市橋通東2-7-18 | 0985-25-1588 | |
| 道路交通情報 | 日本道路交通情報センター | | 〒880-0803 宮崎市旭1-8-28 | 050-3369-6645 | |

道の相談室

道に関する貴重なご意見・提案・相談をお寄せください。今後のよりよい「道」づくりに役立てていきます。
(国道・県道・市町村道・高速道路を対象としています。)

九州「道の相談室」

TEL 092-672-5614 FAX 092-476-3514

【受付時間】午前9時30分～午後5時 土・日・祝・年末年始を除く

宮崎県「道の相談室」(一般回線)

TEL 0985-29-3854

【受付時間】午前9:30～午後5:00 土・日・祝祭日・年末年始を除きます。



QRコード
(宮崎県道路規制情報)

| | | |
|-----------|-------------|---|
| 宮崎県道路規制情報 | パソコン | http://roadi.pref.miyazaki.lg.jp/roadinfo/public/index.htm |
| | 携帯電話 | http://roadi-mobile.pref.miyazaki.lg.jp/roadinfo-mv/mobile/ |
| | 電話による自動音声案内 | TEL.0985-35-3202 |

宮崎県 県土整備部 道路建設課

〒880-8505 宮崎市橋通東1丁目9番18号 TEL.0985-26-7180 FAX.0985-21-1655

- 道路建設課メールアドレス dorokensetsu@pref.miyazaki.lg.jp
- 道路建設課ホームページ <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/dorokensetsu/index.html>

宮崎県庁ホームページアドレス・<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/>

